

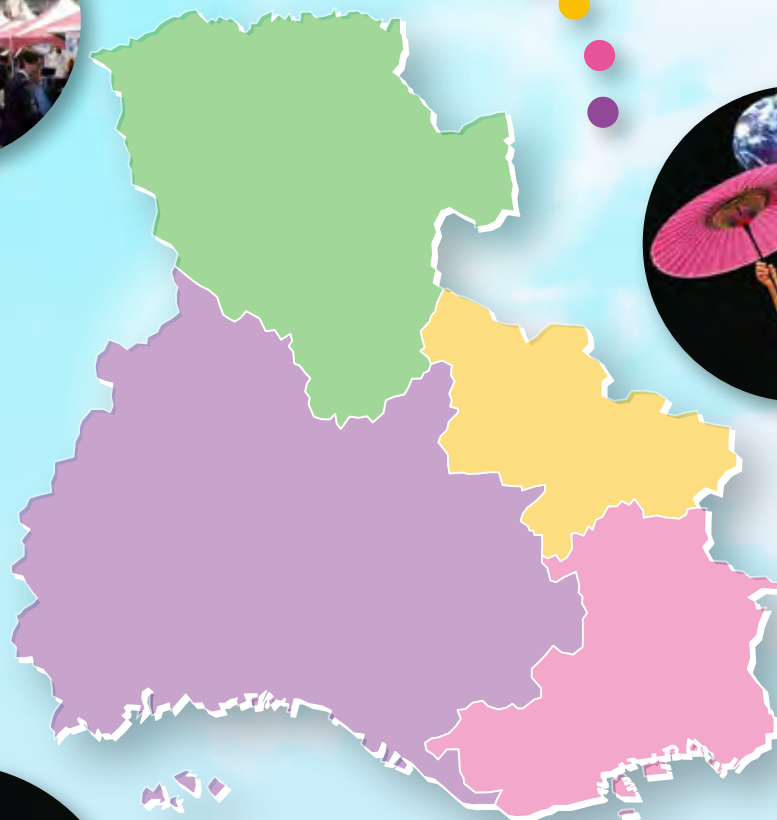


2018-19年度
国際ロータリー第2680地区

地区大会記録誌

〔日時〕2019年3月23日(土)・3月24日(日)

〔場所〕加古川市民会館
加古川プラザホテル



国際ロータリー会長メッセージ



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

朋友ロータリアンならびに来賓の皆様

2018-19年度地区大会にお越しの皆様を心より歓迎申し上げます。この機会に互いの絆を深め、ロータリーがより良く活動するためのアイデアを分かち合っただけを願っております。入念な計画の下で効率的に活動すれば、皆様が世界と地域にもたらす影響、すなわちロータリーの影響をさらに大きくすることができるでしょう。

私たちはこれからも、ロータリーで最高の体験ができるよう、また、ロータリーがさらに発展し、持続可能な奉仕を通じて、より良い世界を築いていけるようにしなければなりません。ロータリークラブ会員であることの価値をロータリアンが実感できるようにする必要があります。情報の透明性と説明責任を重んじながら、できるだけ多くの人により良い変化をもたらさなくてはなりません。目標の設定と達成も大事ですが、さらに大切なのは、今年度を超えた先を見据えることです。今成し遂げることが、今日や明日だけでなく、今の世代を超えていかにロータリー発展の布石となるのかを考えなければなりません。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

かつてポール・ハリスはこう言いました。「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデルです」。私にとって、ロータリーは単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。インスピレーションとなるために私たちが成し遂げる多くのことを目にするのができるのを楽しみにしております。

皆様の地区大会が、実り多く、インスピレーションにあふれる大会となりますことをお祈りしております。
「インスピレーションになろう」(Be the Inspiration)

心を込めて

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Barry Rasch', written in a cursive style.

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー第2680地区大会



■ エクスカーション



■ ポリオチャリティーマゴルフ大会



■ ロータリーファミリーの集い



■ 青少年育成公開セミナー



■ 多様化推進セミナー Part2



■ 大会特別委員会



■ 新会員セミナー - 新会員交流プラザ



■ 会長・幹事会 / 地区指導者育成セミナー



RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



友愛の広場



■ 一般公開講座



■ 本会議





■ 会員家族懇親会





目次

Contents

国際ロータリー会長メッセージ	2	友愛の広場マップ	30
フォトアルバム扉	3	本会議	
エクスカッション／地区大会記念		開会挨拶 (大会実行委員長 大庫俊介)	32
ポリオチャリティーゴルフ大会／		ガバナー挨拶 (ガバナー 矢野宗司)	33
ロータリーファミリーの集い／		歓迎挨拶 (ホストクラブ会長 松本浩一)	34
青少年育成公開セミナー	4	兵庫県知事祝辞	35
多様化推進セミナー Part2／		加古川市長祝辞	36
新会員セミナー—新会員交流プラザ—		RI 理事挨拶 (RI 理事 三木 明)	37
大会特別委員会／会長・幹事会／		RI 会長代理挨拶並びに RI 現況報告	
地区指導者育成セミナー	5	(RI 会長代理 前田直俊)	38
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	6	ガバナー地区現況報告 (ガバナー 矢野宗司)	42
友愛の広場	7	特別講演「おっと！ 夫はロータリアン	
一般公開講座／本会議	8	～ロータリー賛歌」	
会員家族懇親会	10	(講師 玉岡かおる氏)	44
目次	11	大会特別委員会報告	
地区大会記念ポリオチャリティーゴルフ大会	12	大会登録委員会報告	45
大会第 1 日目プログラム	13	大会信任状委員会報告	45
ロータリーファミリーの集い 第 1 部	14	大会決議 (案) 上程	45
第 2 部 (一般公開講座) 青少年育成公開セミナー／		大会決議 (案) 採択	45
「らんま先生の「知って！学んで！楽しむ！」eco 実験パフォーマンス」		ガバナー指名委員会報告	45
第 3 部 生まれ！次代を担うロータリーファミリー	15	地区大会決議	46
多様化推進セミナー Part2	16	RI 会長代理所感 (RI 会長代理 前田直俊)	47
会員増強セミナーⅢ 新会員セミナー		ガバナーエレクト挨拶	
—新会員交流プラザ—	17	(ガバナーエレクト 浅木幸雄)	48
会長・幹事会		ガバナーノミニ—挨拶	
会計報告・補正予算案	18	(ガバナーノミニ— 高瀬英夫)	49
規定審議委員会報告	19	参加クラブ代表挨拶 (西脇 RC 会長 藤本武彦)	50
ガバナー挨拶および現況報告	20	次年度ホストクラブ代表挨拶	
ガバナー—賞表彰	22	(神戸 RC 会長 佐井裕正)	51
地区指導者育成セミナー		ガバナー謝辞 (ガバナー 矢野宗司)	52
講話「水平思考を持とう」		会員家族懇親会	53
(RI 会長代理 前田直俊)	23	表彰	54
講話「ロータリアンの矜持」		参加者	60
(2800 地区パストガバナー 鈴木一作)	25	物故会員	64
所感 (地区研修リーダー 室津義定)	27	大会役員・大会特別委員会	65
大会第 2 日目プログラム	28	実行委員会組織	66
一般公開講座「日本の誇りと未来」		編集後記	67
(講師 竹田恒泰氏)	29	裏表紙	68

地区大会記念 ポリオチャリティーゴルフ大会

3月22日(金) 加古川ゴルフ倶楽部

ポリオプラス小委員会委員 榊 誠(加古川平成)

2018-19年度、2680地区は矢野ガバナー(加古川中央)の下、「地区大会記念」としてポリオチャリティーゴルフ大会を開催しました。ゴルフ場は地元の加古川ゴルフ倶楽部で、参加者103名で開催されました。組数は28組と多いこともあり、セミショットガン方式で4か所から一斉にスタートする方式を採用して執り行われました。各グループ

から大勢の方に参加いただき、少し寒さは残っていましたが、天候にも恵まれ絶好のゴルフ日和となりました。

セミショットガン方式を採用しましたので、混雑具合と遅延が心配でしたが、予定時間通りにスムーズに進行できました。ゴルフ終了後は、ゴルフ場で表彰式が執り行われました。

優勝は、城守会員(姫路)、準優勝は、木下正隆会員(加古川)でした。

ポリオチャリティー募金も当日は、219,805円集まりました。ポリオプラス小委員会としても地元加古川で開催できたことを感謝し、有意義な時間を過ごすことができました。



優勝 城守(姫路)



準優勝 木下正隆(加古川)



●地区大会記念ポリオチャリティーゴルフ大会参加者

尼崎北	岸本 敏裕	齊藤 竜政	下境田耕治	加古川	穴田 敬士	藤本 陽一	船原 太郎
	武本 正照				長谷川昌美	木下 正隆	岡田 義則
尼崎東	藤井 輝男	平野高太郎	光川 慎一		大山 重勝	芝本 忠雄	竹位 賢二
	梅崎 文彦				富田 裕樹		
尼崎西	杉本 一彦			加古川中央	春木 英行	喜多 美雄	宮本鹿司夫(司会)
尼崎南	福田 勝	山本 澄			山谷 光		
尼崎中	上月 環			高砂青松	青柳 淳	菱田 克己	吉川 弘
伊丹	前田 隆則	宗像 毅	佐藤 実路	加古川平成	原田 悟	林 知宏	榊 誠
西宮	早瀬 利典	瀬戸 徹	田和 良久		鳥井 俊介		
甲子園	隔山 泰三	木嶋 一二	松本 源也	三木	五本上照正	堀田 康郎	稲田 三郎
	中川 尚美				伊藤 英樹	五百藏満弘	片山 真人
西宮夙川	山本 正二				前田 静也		
柏原	坂東 隆弘			小野加東	小西 龍機	飯尾 雅人	松井 英樹
神戸東	土城 敏彦	川崎 元男	松井 照夫	北条 脇	濱本 泰秀		
	宮 昭久	梅田 稔		西脇 路	前川 秀一	高瀬 英夫	
神戸南	石丸 鐵太郎	松田 茂樹		姫路南	城 守	三木 健義	横田 昌彦
神戸垂水	澤村 正夫			姫路西	赤穂 哲		
神戸西	丸尾 研一	田中 康之	碓氷 陽介	姫路東	帽田 剛史	岡田 和也	関本 盛男
明石西	柏木 喜義	日下 孝明	宮崎 年容		吉田 和正		
	岡田 州史	佐々木志朗	瀬川勝太郎		樋口 克亘	郡山 佳也	村角 伸一
明石北	榎本 浩	尾上 潤二	吉川 悟		小倉 克輝	酒居 啓介	白井 務子
明石南	伊藤 明彦				和田 正	藪口 保	山田 一郎
高砂	新井 哲三	後藤 宗久	覚野 成広		山根 章		
	鎌谷 雅彦			姫路中央	松井 正光	山本美比古	
				香住	秋山 四郎		

3月23日(土)プログラム

加古川市民会館

ロータリーファミリーの集い(10:00~12:15)

会場：小ホール

司会：インターアクト小委員会、インターアクト顧問会

開会の挨拶 学友委員長 安行 英文(三田)
 挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 挨拶 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
 『ロータリーファミリーの集い』について
 青少年奉仕委員長 坂東 隆弘(柏原)

活動紹介

- ①インターアクト
- ②青少年交換来日生・派遣候補生・青少年交換学友会
- ③ローターアクト ④RYLA・RYLA学友会
- ⑤米山記念奨学生・米山奨学生学友会(兵庫)
- ⑥ロータリー財団兵庫学友会 ⑦公益財団法人PHD協会

閉会の挨拶 米山記念奨学委員長 秦 紳一郎(洲本)

ロータリーファミリーの集い昼食(12:20~13:20) 会場：小ホール

青少年育成公開セミナー(13:30~15:30)

(一般公開講座)

会場：大ホール

司会：千葉 恵美

開会挨拶並びにロータリーの青少年奉仕活動の紹介
 青少年奉仕委員長 坂東 隆弘(柏原)
 講演 講師 らんま先生
 『らんま先生の『知って! 学んで! 楽しめる』eco実験パフォーマンス』
 謝辞・閉会挨拶 大会実行委員長 大庫 俊介(加古川中央)

加古川プラザホテル

エクスカーション

- 11:00 加古川プラザホテル出発
昼食(イーグレひめじ)~姫路観光
- 16:00 加古川プラザホテル着

多様化推進セミナーPart2(10:30~12:25)

会場：高砂・尾上の間

司会：福井 正博(神戸西神)

開会挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 趣旨説明 クラブ管理運営副委員長/多様化推進小委員長 梅原可奈子(西宮イブニング)
 委員会報告「当地区会員基盤の現状」
 多様化推進小委員会 橋本 雅彦(姫路東)
 講演「ジェンダーを超えた仲間づくり」
 国際ロータリー第2660地区代表幹事 宮里 唯子(茨木西)
 パネルディスカッション
 「ジェンダーを超えた仲間づくりに向けて」
 パネリスト 講演講師 宮里 唯子(茨木西)
 ガバナーノミニー 高瀬 英夫(西脇)
 次年度会員増強委員長 武田 寿子(神戸西)
 コーディネーター/パストガバナー 滝澤 功治(神戸須磨)
 閉会挨拶 ガバナーエレクト 浅木 幸雄(神戸)

新会員セミナー-新会員交流プラザ(10:30~12:15)

会場：瀬戸の間

司会：宮本 毅(尼崎北)

2018-19年度入会者紹介
 委員長挨拶・趣旨説明「新会員と学ぶロータリー」
 増強拡大委員長 宇尾 好博(神戸中)
 講話 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 講話 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
 2018-19年度同期会設立準備委員会に向けて
 名刺交換会
 テーブルディスカッション「ロータリーに入会して」
 記念撮影
 閉会挨拶 増強拡大委員 森田 茂樹(柏原)

昼食(12:30~13:25)

会場：2階

大会特別委員会(12:30~13:25)

会場：地下1階

- 12:30 大会登録委員会/大会信任状委員会/
大会決議委員会/地区資金委員会
- 13:00 ガバナー指名委員会

会長・幹事会(13:30~15:00)

会場：高砂・尾上の間

司会：多木 有一(加古川中央)

開会点鐘 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 国歌斉唱
 我らの生業斉唱 ソングリーダー 木曾 秀行(加古川中央)
 挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 決算報告 直前会計長 笹倉 宣也(神戸西)
 監査報告 直前会計監査 光斎 信治(神戸須磨)
 決算承認 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 規定審議委員会報告 規定審議委員長 大内 晋二(神戸須磨)
 地区現況報告・ガバナー表彰 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 補正予算案提出 地区財務委員長 朝家 修(加古川中央)
 補正予算案承認・閉会点鐘 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)

地区指導者育成セミナー(15:15~17:00)

会場：高砂・尾上の間

司会：前川 忠範(加古川中央)

RI会長代理入場
 RI会長代理紹介・挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 挨拶・講話 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
 講話「ロータリアンの矜持」
 2800地区バストガバナー 鈴木 一作(寒河江)
 所感 地区研修リーダー 室津 義定(尼崎中)

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会(18:00~20:00)

会場：鹿児の間

司会：千葉 恵美

RI会長代理ご夫妻入場
 開宴の挨拶 大会実行委員長 大庫 俊介(加古川中央)
 来賓紹介および挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
 挨拶 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
 乾杯 前RI理事 斎藤 直美(豊田)
 アトラクション 多田 周子/亜空亜Shin
 閉宴の言葉 ホストクラブ会長 松本 浩一(加古川中央)

ロータリーファミリーの集い 第1部



青少年奉仕委員会
委員長
坂東 隆弘
(柏原)

3月23日 土曜日、加古川市民会館、まだ肌寒い澄んだ空気、独特の緊張感の中、登録者242名を迎える準備です。10時からの開会に向け、8時より会場準備とリハーサル、受付準備、あわただしく時間が過ぎます。気が付けば、会場は8割近く埋まり、10時の開会を迎えました。

ロータリーファミリー (RF) の集いは、昨年度に「青少年の集い」から名称を変え、地区大会・本大会の前日に実施されています。その構成は、インターアクトクラブ (IAC)、ローターアクトクラブ (RAC)、RA学友会、青少年交換の来日生、派遣候補生、帰国生、交換学友会 (ROTEX) やそのホストファミリー (HF) 等関係者、RYLA学友会、財団奨学学友会、米山記念奨学生、米山学友会兵庫、そして公益社団法人PHD協会の文字通りRFが、交流、親睦、相互理解を深めるための年に一度の大きな集いです。

10時ジャスト、オープニング (奥田裕作) の映像が流れ始めました。今回の司会は、IAの担当。百合学院高等学校IAC2名がしっかりと進めます。

RID2580 嶋村文男RYLA委員長、RID2670 藤原賢治RYLA委員長がご来賓として紹介されました。

最初は、学友委員会 安行英文委員長の5学友を春の花に例えた素敵なお開会挨拶で始めました。

そして、国際ロータリー会長代理、前田直俊様と矢野宗司ガバナーが、室津義定エイドのもとご入場され、それぞれ優しく、そして易しくRFに語り掛けられました。

万雷の拍手でご退場後、坂東青少年奉仕委員長がこの集いの説明と来場者を紹介し各部門に移ります。

最初に、昨年8月に実施されたIAタイスタディーツアーの報告です。百合学院IACの1年生3名は、その体験を自分のものとして、これからの人生の糧としてとらえた感動的な発表でした。次に篠山中IAC主幹実施の第36回IA年次大会を滝川高校IAC2名から報告がありました。

次に青少年交換は、来日生7名、派遣候補生3名、帰国生2名が北村学友会長長の紹介の後、それぞれスピーチをしました。帰国生の二か国語によるスピーチは、会場のIAにとって刺激的です。

RAは、普段の活動に加え、今年1月のフィリピン国際奉仕プロジェクトについて報告があり、これも初の取り組みとしてインパクトのある報告でした。続いて、RYLA学友会の映像を駆使した説明、米山学友会の活発な活動、財団学友の説明、そしてPHD協会の歴史と活動など多くの気付きを与える報告がありました。最後に米山記念奨学委員会 秦紳一郎委員長よりの閉会の言葉で第1部を閉め、全体記念撮影をしました。



第2部

〔一般公開講座〕 青少年育成公開セミナー らんま先生の「知って! 学んで! 楽しめる!」eco 実験パフォーマンス

「知って! 学んで! 楽しめる!」eco 実験パフォーマンス講師 らんま先生の一般公開講座、公共イメージアップも兼ね、青少年の育成のために、環境問題を分かりやすく楽しんで学べる実験講座。

加古川市民会館 大ホールには一般のお客様、幼児からお年寄りまで、そしてロータリーファミリーの集いに午前中参加したメンバーも併せて219名がホールの前方に集まりました。一般の方々に向けた、坂東青少年奉仕委員長のロータリーや地区大会、ロータリーファミリーについての説明の後、いよいよ、らんま先生の講義が始まりました。

とにかく、楽しいあっという間の1時間半のパフォーマンスでした。

ここからの報告は、ローターアクト今川さんのローターアクト地区広報文を引用させていただきます。

しっかりした科学考証と環境考証に裏打ちされた大道芸スタイルのパフォーマンスが、一般参加の子どもたちだけでなく、大人の心も驚嘆みにし、会場内が大いに盛り上がっていました。

そのステージもさることながら、らんま先生の経歴や生き様にも刺激を受けました。

「時間と情熱をかけて挑戦して成功したことに意味がある」という言葉や、「何歳からでも夢は叶えられる」という言葉は、大人になった今だからこそ心に響いたのではないかと思います。

この感想が、この事業を良く表していると思います。もっと多くの方にご覧いただきたいかった講座です。



第3部

集まれ! 次代を担うロータリーファミリー 楽しいゲームと交流空間

長井彦一郎インターアクト小委員長の発案により、今回実施された第3部、「せっかく集まっているのだから、交流をしよう」という意見にローターアクトたちが応えてくれました。

青山翔太地区ローターアクト代表の進行のもと、ローターアクトが中心となり、インターアクト、米山記念奨学生、米山学友、RYLA学友会の約70名がこの交流

空間に、様々なゲームや企画を通して、参加者の団体の垣根を越えて交流を深めました。積極的なインターアクトや、戸惑いながらも参加して下さった米山記念奨学生の皆様の協力に助けられ、クロスプロモーション事業の先駆者としてのRI2680地区ならではの事業となりました。突然の設営にご協力いただいた加古川中央ロータリークラブの皆様に感謝申し上げます。



多様化推進セミナー Part2



クラブ管理運営委員会 副委員長
多様化推進小委員会 委員長

梅原可奈子

(西宮イブニング)

2018-19年度・地区大会1日目、3月23日(土) 10:30~12:30迄、加古川プラザホテル2階高砂・尾上の間において、「ジェンダーを超えた仲間づくり」をテーマに「多様化推進セミナーPart2」を開催いたしました。

今年度は、矢野宗司ガバナーよりロータリー活動全般について、様々なデータ資料に基づくご提言を頂きました。多様化推進小委員会においても当地区を中心とした、会員基盤の現状を数値・データを基に分析し、ロータリー研修デーの多様化推進セミナーに於いて報告致しました。引き続き今回のセミナーでも、まず最初に委員会報告として「当地区会員基盤の現状」を橋本雅彦委員より報告致しました。

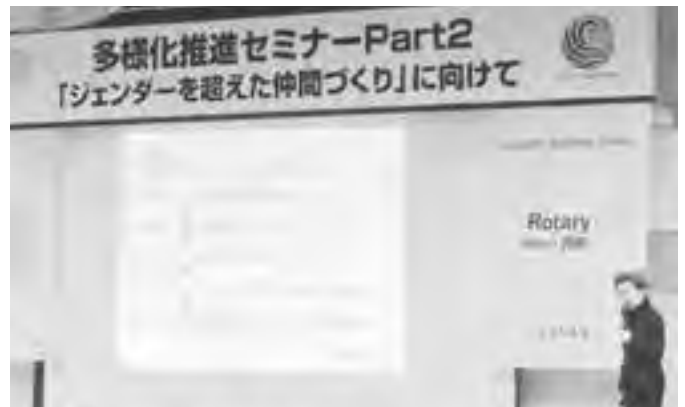
第一部では宮里唯子RI第2660地区代表幹事から、「ジェンダーを超えた仲間づくり」をテーマとしてご講演を頂きました。内容としては、①ご自身のロータリアンとしての実績 ②国際ロータリーの女性役員の紹介 ③女性ロータリアン(世界・日本)人数や動向 ④2018年決議案、2019年規定審議会立法案、制定案の説明 ⑤戦略計画に関する調査による女性・若いロータリアン(30~39歳)の理想の会員像の紹介 ⑥今後のロータリーにおけるマイノリティー(女性や若者)

に関する展望 ⑦第2660地区の事例として、女性会員によって増強が成功したクラブの事例、および問題点 ⑧これからのロータリーの在り方、等についてでした。ご自身の見解も含めパワーポイントを使ってグラフや写真を示されながら話され、わかりやすく、また一方では緊張感のある講演でした。

第二部のパネルディスカッションでは、コーディネーターに滝澤功治パストガバナー、パネリストには講演者の宮里唯子RI第2660地区代表幹事、高瀬英夫ガバナーノミニ、武田寿子次期地区会員増強委員長の3名にご登壇いただきました。

まず、女性ロータリアンのお二人にはロータリークラブ入会の経緯や入会してからの出来事や思いを話して頂きました。そして、日本の中でも特に当地区の女性会員の割合が低い現状に対して、その原因や女性会員入会の障壁についての考え、それを乗り越えていくための方策等を、また、女性会員、さらに若い会員の必要性、その価値についてパネリストの経験や実情を交えて本音の意見交換をして頂いたものと思います。

最後に今回のセミナー開催にあたり参加者の皆様をはじめ、関係者の皆様方にご尽力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。



会員増強セミナーⅢ 新会員セミナー —新会員交流プラザ—



増強拡大委員会
委員長

宇尾 好博
(神戸中)

3月22日(土)10時30分～12時15分、加古川プラザホテル瀬戸の間で開催された。

2018年7月1日～2019年3月6日の新会員94名(男性84人、女性10名)が、ロッキーのテーマ音楽のなか映像で紹介された。当日参加者は、新会員33名、入会2～3年会員8名。クラブ会長その他40名、総勢81名。SAAは宮本毅(尼崎北RC)。

宇尾委員長より、挨拶と趣旨説明が行われた。

まず、ロータリーは、ロータリーの目的の基に活動していること、この地区大会の目的と国際ロータリーの役割について。そして、ロータリーを知ることが大事であり、ロータリーの歴史を知ると、その中にロータリーの理念、組織、ロータリーの変化を知ることができる。しかし、素晴らしいロータリアンと出会ってロータリーを知ることが最も大切である。ガバナー月信に矢野ガバナーが連載でロータリーの歴史を書かれているので、是非ともお読み頂きたい。

次に、今日の不安定、不確実、複雑、曖昧な時代においては、倫理性、感性、美意識が求められており、そこにロータリーの存在意義がある。昨夜、イチローは引退記者会見で、「人に喜んでもらえることが一番の喜びに変わってきたのですね」と語っていた。ロータリアンも同じです。皆さんは、いろいろ勧められて入会されたが、ロータリークラブへの入会を決断されたのは、皆さん自身です。自分がやると決めたことを信じてやっていく、やり抜いて頂きたい。ロータリーライフを大いに楽しみ、素晴らしいロータリアンになって頂きたい。

最後に、皆さんの横のつながりは大切だと思うので、矢野年度の新会員同期会設立準備委員会を設けたいのでご賛同を頂きたいとの提案があった。

矢野ガバナーから講話が行われた。記憶の限りでは、地区において新会員セミナーが行われたのは、初めてのことである。太鼓を小さく敲けば、小さな音が返ってくる。大きく敲けば大きな音が返ってくる。ロータリーとの関わり方も太鼓と同じである。ぜひとも、積極的にロータリー活動に参加し、素晴らしいロータリアンに成って頂きたいと語られた。

次に、前田直俊RI会長代理(坂出東RC)から、新会員に激励の言葉が送られた。

その後、新会員相互の名刺交換会、8卓に分かれての意見交換会が行われ、他のクラブの話が聞けて良かった、まだ何もわからないので横の連絡が取れる同期会を是非作りたいとの賛同も得られた。参加者注目のなか、矢野ガバナーと新会員、入会2～3年会員一人一人との記念撮影が行われ大いに盛り上がった。



会長・幹事会

〔会計報告〕

- 2017-18年度
決算報告・監査報告・承認

- 決算報告

直前会計長

笹倉 宣也

(神戸西)

資料に基づき、2017-18年度の
決算報告がなされた。



- 監査報告

直前会計監査

光斎 信治

(神戸須磨)

監査の結果、決算報告に疑義が
ないことの報告がなされた。



- 決算承認

矢野宗司ガバナーより、決算に対する承認が諮られ、
賛成多数で2017-18年度決算が承認された。

〔補正予算案提出〕

- 2018-19年度
補正予算案・承認

- 補正予算案

財務委員長

朝家 修

(加古川中央)

資料に基づき、HYOGO
フェスタの予算のうち、
200万円をロータリー研究
会に充当する補正予算
案が提出された。



- 補正予算案承認

矢野宗司ガバナーより、補正予算案に対する承認
が諮られ、賛成多数で2018-19年度補正予算案
が承認された。



会長・幹事会

〔規定審議委員会報告〕



規定審議委員会
委員長

大内 晋二
(神戸須磨)

2018-19年度地区大会初日23日(土) 午後のプログラム「会長・幹事会」で「規定審議委員会報告」を行った。

骨子は、第一に、先に実施した2019年規定審議会制定案についてのアンケート結果。第二に、2019年決議審議会のためのクラブ提出決議案募集の案内と、地区立法案検討会の案内であった。

まず「制定案と決議案」、「規定審議会と決議審議会」の差異を確認した。制定案が対象とする組織規定(RI定款・細則、標準クラブ定款)はロータリークラブ、ロータリアンを直接・間接に拘束することに留意するよう要請した。

制定案	決議案
組織規定の改定を 意図目的とする議案	組織規定の改定を 意図目的としない議案
組織規定 RI定款、RI細則、 標準ロータリークラブ定款	主に RI理事会、ロータリー封鎖 に対する要請
規定審議会で開催	決議審議会で開催

制定案+決議案 = 立法案

規定審議会と決議審議会の開催方式の違いにも触れた。規定審議会はFACE to FACEで開催されるので、賛成・反対の討論を直接的に戦わせて、互いの論拠が明確になり、議案によっては修正案を作り上げることが可能となる。決議審議会はWEB上で開催されるので、討論はなく修正案もあり得ず、対立点は解消されずに残る。多数決の限界と言わざるを得ない。RIは規定審議会もWEB開催など簡素化を推進しようとしているが、組織規定の決定権は元来クラブにあることを考えると、疑問なしとしない。

次いで、制定案のアンケートの報告を行った。有難いことに、クラブから11通、個人27通と、予想を超える回答

をいただいた。個人回答は会長や会長エレクトからのものもあった。クラブ理事会での意見集約が困難なために個人資格で回答をお寄せいただいたケースもあったと推察される。

詳細なコメントが付された回答が2通あった。ロータリー歴40余年、20余年の2人のロータリアンであった。ロータリーへの深い愛と冷静な思索に裏付けられたコメントの一つひとつに、委員会として敬意を表したい。

当地区提案の制定案には、すべて支持する意見が過半を占めた。また、2016年規定審議会で採択された標準クラブ定款第六条第二項第二文のように、従来は拘束力のない「決議」としてクラブ自治に委ねていたものを、敢えてクラブ定款に引き上げ規範性(拘束力)を持たせ、クラブを縛ろうとすることへの危機意識も、アンケートから伺うことができた。

次いで、2019年決議審議会へ決議案のクラブ提案募集について告知と協力を要請した。その中で参考として、2018年決議審議会において2680地区提案の決議案の採択状況を報告した。全55件の決議案が提案され採択27件(採択率49%)であったのに対し、当地区は提案7件中、採択4件(57%)であった。ロータリーの現状と将来への当地区の洞察が、国際的な共感を得たと言えるのではないだろうか。クラブ提案の決議案は5月19日(日)開催の「地区立法案検討会」で承認され、決議審議会に送られる。

最後に米国シカゴで4月14~18日の日程で開催の規定審議会の「報告会」についても告知を行った。規定審議会の結果、組織規定が変更されると、次年度よりクラブ運営に直接的な影響がある。地区立法案検討会と併せて開催される規定審議会報告会で正確な情報を入手し準備することはクラブのリーダーにとっては喫緊の課題。代表議員滝澤功治PDGによる解説と質疑応答を予定。次年度クラブ会長・幹事はじめ多数のクラブリーダーのご参集を要請した。

以上で規定審議委員会からの報告を閉じた。

会長・幹事会

〔ガバナー挨拶および現況報告〕



ガバナー
矢野 宗司
(加古川中央)

先ほどは、「我らの生業」の2番を斉唱いたしました。初めて歌ったという人も多かったのではないかと思います。日本語のロータリーソングが生まれたのは1935年で、「奉仕の理想」とともに「我らの生業」が採用されました。そして、1936年、倫理運動としてのロータリーを高らかに宣言した「大連宣言」が採択されます。「我らの生業」の2番はそれと呼応して「奉仕に集える 我等は望む 正しき道に 果（このみ）をとるを」と、ロータリー哲学を格調高く歌ったものであります。機会があれば是非クラブでも2番まで歌っていただければと思います。

奉仕に集える 我等は望む
正しき道に 果（このみ）をとるを
人の世挙（こそ）りて 光を浴みつ
力を協（あわ）せて 争い忌むを
おおロータリアン 我らの集い

〔地区の現況報告〕

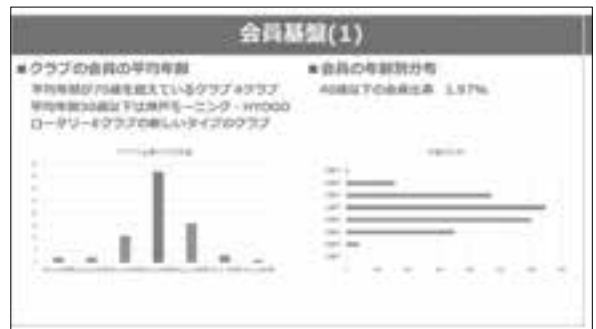
本年度、私はガバナー行動指針として「変化 (Change) を恐れず、変化をリードし、新たな機会 (Chance) と捉え、挑戦 (Challenge) していく」を掲げ、それをもとに4つの方針、8つの変革、3つの挑戦に取り組みました。今日は、時間の関係もありますので、その主だったものを中心に述べていきます。

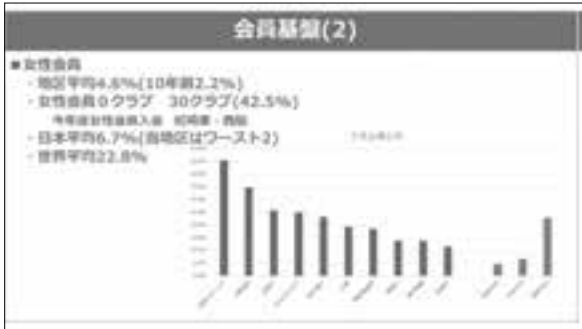
まず、地区の現況については次のようになります。

会員数については、2019年2月末現在、2,780人と、年度当初より17人の増加、クラブでは32クラブが会員を増やしていますが、地区全体で2,800人は回復しておらず、厳しい状況が続いています。



会員基盤においては、会員の高齢化が進む一方、40歳以下の会員比率は1.97%、また、女性会員比率も4.6%と日本の地区の中でワースト2という状態で、会員基盤の多様化はあまり進んでいないのが現状であります。





また、「人道的奉仕の重点化と増加」に関する現況は下記になります。

地区の一年間の歩み	
【人道奉仕の重点化と増加】に関する目標	
1. 海外奉仕活動への参加者数と地区からDOFの参加者数	
・DOFの目標 \$50,000 (今年度は→\$30,000)	
・参加者数 100名 (今年度は→\$20,000) ロータリー奉仕センターの目標 \$10,000	
・この基金活動の参加者数(本と海外) \$20,000	
2. DOFを利用した海外や海外での地区活動者数(FCI)の増加	
・本年度の目標参加者数(FCI) \$424,418.11(前年度の目標\$265,079.34)	
・参加者数(海外) 地区委員会 \$21,804 グローバル委員会 \$102,822	
・地区委員会(奉仕プロジェクト)の参加者数 23件	
・地区委員会タイプ1 13名 地区委員会タイプ2 1名	
・グローバル委員会プロジェクト 4件	
・海外 海外・フィリピン 2名(2地区)	
・グローバル委員会タイプ 1名(2地区)	
・グローバル委員会タイプ 1件(カンパニア・海外活動)	
・海外委員会・海外委員会 1件(バミリアン・海外)	

さて、本年度は「8つの変革」のもと、様々な改革を行ってきました。具体的な改革は、

1. 補助金管理セミナーの改革
2. 個別の地区委員会スタッフ会議の開催
3. 次期クラブ会長による地区委員の推薦
4. PETSの充実
5. 4地区合同委員長会議の開催
6. ローターアクトクラブの訪問の実施
7. ロータリー研修デーの実施
8. 系統だった研修システムの採用と実施

で、1～7はすでに実施、8は現在進行中です。

その中でも、昨年12月2日に行った「ロータリー研修デー」は、これまで10～12月に個々に開催されていたセミナーを1日に集約することによって、遠方のクラブの負担を軽減し、充実した研修を行う初めての試みで、8つのセミナーと本田博己氏による講話で構成されました。参加人数約600名というまさしく充実した研修の1日となりました。

また、本年度はロータリーの青少年関係プログラムには特に力を入れてきました。昨年8月にはインターアクト・リーダー研修タイ王国スタディーツアーを行い、同時にアカ族集落への飲料用浄水器設置プロジェクトを行い

ました。また、ローターアクトについては、公式訪問を実施し、新たに加古川中央ローターアクトクラブも誕生しました。青少年交換については、大幅増の8名の交換と積極的な交換を行ってきました。これらによって、ロータリーと青少年のつながりの強化に努めて来ました。

「4つの方針」の一つであるロータリーデーの開催については、昨年の11月3・4日に、神戸メリケンパークで「ひょうご五国+ワールドフェスタ」を開催し、ガバナー補佐をはじめ、多くのクラブ並びにロータリーファミリーの協力の下、2日間で約75,000人の来場というロータリーデーとして国内で最大級のイベントを行うことができました。皆様のご協力で深く感謝いたします。ロータリーの目標である「公共イメージと認知度の向上」に大いに貢献できたものと確信いたします。

また、4つの方針の一つとして「My ROTARYへの登録率を50%以上にする」に対しては、3月22日現在、59.97%と目標を大きく上回り、73クラブ中56クラブが達成して下さいました。全国でも1位、2位を争うまでになりました。昨年の1月時点では21.54%でしたので、一年間で素晴らしい伸び率です。ご協力いただいたガバナー補佐、クラブ会長、幹事に心よりお礼を申し上げます。



最後に「3つの挑戦」の一つとして、地区大会を加古川で開催することに挑戦をしました。例年の神戸ポートピアホテルでの開催に対して、手作りの開催で、不手際、不便な点多々あると思いますが、インスピレーションあふれる大会にしたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

会長・幹事会

〔ガバナー賞表彰〕

本年度は、My ROTARYの登録に貢献されたクラブ並びにガバナー補佐を対象にガバナー賞の表彰を行いました。

My ROTARY登録最優秀賞

My ROTARY登録率100%達成クラブ

尼崎南ロータリークラブ
尼崎中ロータリークラブ
神戸北ロータリークラブ
神戸西神ロータリークラブ
神戸モーニングロータリークラブ
明石西ロータリークラブ
洲本ロータリークラブ
姫路中央ロータリークラブ
香住ロータリークラブ
和田山ロータリークラブ

My ROTARY登録優秀賞

My ROTARY登録率80%達成クラブ

尼崎東ロータリークラブ
西宮イブニングロータリークラブ
西宮夙川ロータリークラブ
篠山ロータリークラブ
HYOGOロータリーEクラブ
加古川中央ロータリークラブ
あわじ中央ロータリークラブ

My ROTARY登録優秀賞

グループ内の全クラブがMy ROTARY登録率50%を達成したガバナー補佐

尼崎グループ	福田 勝 (尼崎南)
阪神第3グループ	柳田 昌三 (三田南)
神戸第2グループ	澤村 正夫 (神戸垂水)
東播第1グループ	岸本 吉充 (明石西)
淡路グループ	森崎 文雄 (洲本)
西播第2グループ	前田 邦稔 (赤穂)
但馬グループ	秋山 四郎 (香住)



地区指導者育成セミナー

〔講話〕 「水平思考を持とう」



RI 会長代理

前田 直俊

(坂出東)

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきましたRI2670地区坂出東ロータリークラブのPastガバナー前田直俊と申します。この2日間エイドを務めてくださる地区研修リーダーの室津義定Pastガバナーと同期の仲です。バリー・ラシンRI会長の代理としてこの地区大会に参加できましたことを非常に光栄に思い、また心より感謝しております。

本日は当地区のPastガバナー、ガバナー補佐、新旧クラブ会長・幹事、地区委員の方々を前にしてのお話となります。その前に当地区1990-91年度ガバナーの深川純一様が本年1月6日にご逝去されましたことに深く哀悼の意を表したいと思います。私も小豆島のRYLAにおける講義の中で人生訓を賜り、1番最後に会話をしたのは、ぐっと庶民感覚の話にはなりますが、カレーライスを昼食時に食べている時に「前田くん、ロータリーは皆平等だからね」と言われたのを昨日のこのように覚えています。きっと私の方に、深川Pastガバナーに対して気を使いすぎた態度があったからだと思っています。

本日皆さんの前でお話するにあたり、当地区と私が所属する2670地区は1964-65年度から1970-71年度の7年間は、全く同一エリアとしてロータリーとしての行動を共にしていました。そういう意味でも歴史的に両地区は特別に友好的であったといえます。また1979年に共同して第一回のRYLAセミナーを開いて以来、毎年小豆島にある神戸YMCA余島野外活動センターでRYLAセミナーが開催されています。この40年間に両地区を合わせて2,000名以上の受講生を送り出してあります。これに付きまして日頃RYLAプログラムを進めるにあたり三木RI理事、安平ロータリーの友委員会特別顧問、滝澤PDG、丸尾PDGには御指導賜り、感謝の念にたえません。

さて、地区大会の目的は、親睦とロータリーに対する意識高揚を図る講演や最近のRIや地区、クラブの課題の討議を通してロータリーの目的の基盤を向上していくものです。バリー・ラシン会長は次のように話されています。「すべてのクラブの問題を1人で解決することが皆さんの仕事なのではありません。ここにきた目的は、変化を生み出すことへの意欲を地区ロータリアンの心に芽生えさせるためです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが地区リーダーである皆さんの仕事なのです。それを一緒にインスピレーションになろうという2018-19年度テーマとともに始めていただきたいのです。」と。

バリー・ラシン会長からは、皆様の地区大会が実り多く

インスピレーションにあふれる大会となりますことをお祈りしておりますと伝言を承っております。この大会の2日間で、多くの2680地区会員の皆様にとってインスピレーションに包まれて、活気に満ちた前向きな大会となることを期待しております。

さて本日は、ロータリーに水平思考、とくに空間考察を導入して会員増強を図ろうということについてお話をしたいと思います。バリー・ラシン会長は次のように話されています。「変化を起こすのは難しいものです。ある方向に向かって邁進してきた期間が長ければ長いほど一緒に進む友人が多ければ多いほど、そこに立ち止まって別のやり方を選ぶのは難しい。しかし組織が進化し重要性を失わないように正しい方向に進むのであれば、慎重によく練られた目標に向けての変化は欠かせません」と。それを受けて矢野ガバナーは、地区行動指針として「チェンジ、チャンス、チャレンジ」という3Cを掲げられ、強いリーダーシップでさらなる地区の進化を目指しておられます。それ故にバリー・ラシン会長より私に応援の話を託されております。

先ずお話ししたいのは、ロータリーの内容についてのプレゼンアプローチを、最初から最後までオーディエンスとの双方向型に理解できるような、ダイナミックで印象的な記憶に残るベストな会話のようなプレゼンテーションを行うことを考えた事です。お互いの脳の活動が活発になり、脳のカップリングが起こるような提示方法に努めたいと思っています。

人間の体の組織、細胞の隅々まで体液が流れて、酸素、栄養、ビタミン、ミネラルを供給し、すべての体内空間を覆っていますが、脳の細胞もその中に含まれます。それらの供給こそ脳の活動に対するインスピレーションなのです。何枚ものスライドをめくるプレゼンテーションとは違ったタイプで、あたかも会話をするような形のプレゼンテーションは1つの場面だけを使って行います。これはデジタルマップのようなもので、無制限の広い場所に様々なトピックの点が存在して、プレゼン全体が大きな空間となり、その中にポイント、ポイントを複数作ることによってそれぞれのポイントの間をトピックが移動する形となります。すなわちデジタルマップのような地図上の様々な点に注目し、その間を自由に動きながら会話をしていくかのような形をとります。この双方向性のプレゼンテーションは、会話中に脳のカップリングを起こすため記憶に残り易く若者から老人までの気を引くようなプレジデントラシンの「Be the Inspiration」のメッセージの伝え方だと思えます。本日はこの手法を使ってプレゼンテーションを行っていきます。

さて、最近私たちが行った介護求人現場でのUSP (unique selling proposition) を紹介してみましょう。

20人ぐらいの応募人数に対して60~70社が企業説明に参加しています。初回参加では我々の施設の応募はゼロでしたが、2回目のこの日は、スタバ風アイデア作戦で3人獲得出来ました。他の全施設は小さい椅子2つと机1つ、スタッフ2人という構えであったのに対して、私たちのチームは人数は同じく2人ですが、装いをスターバックス風にして求人側のスタイルとすれば傑出した形をとりました。



(介護求人現場でのスタバ風差別化)

また、水平思考、特に空間考察を導入した事例で、新型衛星クラブについて紹介いたします。ちょうど1年前に年会費70,000円の新型衛星クラブを立ち上げました。これは既存のロータリークラブのサブクラブとして運営していく次世代型のクラブで、リアルクラブ+オンライン衛星クラブの組み合わせになっています。従来の衛星クラブのような移行形態という考え方にとらわれず、発想の転換で、衛星クラブ会員と親クラブ会員との間に多機能化した要素を持たせています。ロータリークラブに奥座敷的空間の枠組みができたので、2次元から3次元への空間的移動の考慮ができ、空間的なつながりなので時空的にも余裕を持って所属できます。当初10人のメンバーから出発しましたが、1年後の現在、19名となっております。簡単に紹介しますと、新型衛星クラブの会員は30歳代が19名中5人で、続いて40歳代が5人となっております。それでも60歳代と70歳代で7名が所属しております。全体の平均年齢は親クラブの67歳に対して51.5歳となっております。女性会員は3名で全体の15.8%になっています。ここが大事なポイントですが、この1年間に親クラブから移動した会員は転勤が1人、職場退職が1人、多忙が3人、経済面が2人となっており、今までであれば本クラブを退会しても致し方ないような状況の人たちが新型衛星クラブに残留してロータリー活動を継続していることです。

空間考察的に言えば広い空間であるほど、どんな環境であれ、どんな事情があれ、ロータリー活動を続けたいという気持ちがある人はそこに残ることができますし、仲間と一緒に集うことができるということです。およそ1世紀も増加してきた日本人の人口が、一昨年よりついに減り始め

ました。その一方で、現在65歳以上の人口は全体の27.7%を占めるため、超高齢化社会になっています。ここが海外とは日本の事情が違っているところ。いわゆる「少子高齢化」「人口減少社会」に日本ロータリーが立ち向かっていくためには短期的長期的観点から日本人の幅広い年代に対する広報を行い、また放たれたインスピレーションを受けた人々のロータリーへの参加を促さなければいけません。

多くの競合団体の中にあつてブランディングは必要であり、ロータリーの独自性を打ち出して差別化をしなければいけません。これはその例えであります。その独自性という点で、矢野ガバナーは様々な行動をされました。

・ロータリーデー (ひょうご5国+ワールドフェスタ)

神戸メリケンパークで開催された「ひょうご5国+ワールドフェスタ」は素晴らしい2日間のロータリーデーでした。約75,000人の来場者に裏打ちされるように全国でも注目の、ロータリーを世の中に打ち出せるフェスタでした。まさに公共イメージ向上のスーパーインスピレーションです!!

・ロータリー研修デー

例年10月から12月にかけて開催される各種セミナーを1日に集約して実施する「ロータリー研修デー」が初めて実施されました。8つのセミナーを同日に行い、複数のセミナーを合理的にかつ有効に行うことにより、会員の皆さんに負担にならないように行われました。

・RACへの公式訪問

矢野ガバナーがノミニーの時から考えていたローターアクトクラブへの公式訪問が実行されました。この新しいプログラムの追加は若い世代への前向きな姿勢として讃えられるべきものです。また他地区への模範となるべきものと思われれます。

・My ROTARY登録率の短期間での50%越え

見事、矢野ガバナーの指導の下、みんなの協力で短期間での50%越えが実現し、2019年3月23日現在59.86%になりました。

最後になりますが、今回の矢野ガバナーを中心に貴地区のロータリアンが力を合わせて行ったところの強力な公共イメージ向上につながるロータリーデーが、全国のロータリアンにあふれるばかりのインスピレーションを送りました。ひいては2018年度神戸新聞広告特別賞地域パートナー賞を見事受賞されました。今後は全国のロータリアンが、そのインスピレーションの後押しにより理論と実践の間を埋める努力を行い、若い世代から誇りを持った老齢期の人々に対して会員増強が格段に進み、矢野ガバナーの行動指針のように、現在の日本の2.5ゾーンから3ゾーンに返り咲くチェンジをチャンスとして切り開いて行かなければなりません。ピンチをチャンスに、小さなチャンスも大きなチャレンジへと発想を切り換えて アイデアを絞りながら精進しましょう。最後にバリー・ラシン会長は6月のハンブルグ国際大会で皆さんにお会いしましょうと期待を込められておられます。

ご静聴有り難うございました。

地区指導者育成セミナー

〔講話〕 「ロータリアンの矜持」



2800 地区パストガバナー

鈴木 一作

(寒河江)

最初に

講演に先立ち、深川純一先生のご逝去に謹んで哀悼の意を表します。本日のテーマ“ロータリアンの矜持”は、深川先生のロータリー人生にまさに相応しいものだと思います。このような機会をくださった矢野宗司ガバナーに、心から感謝申し上げます。

さて、“ロータリアンの矜持”とは何でしょう。ロータリーの第1モットー、第2モットー、あるいは決議23-34でしょうか？ もちろん、それらもロータリーの普遍的価値ではありますが、むしろ私は、「なぜ、我々はロータリーが好きなのか?」、「ロータリーの魅力、喜び、誇りとは?」に対する回答こそが、“ロータリアンの矜持”ではないかと思うのです。

ロータリーとは?

先ず、ロータリーそのものについて考えてみましょう。最近、「ロータリーは世界的な奉仕団体である」という言葉をよく耳にします。確かに間違っていない。しかし、ロータリー全体を正しく語った表現とは言えません。なぜなら、「ロータリーの三要素 (①親睦、②学び、③奉仕)」がそろっていないからです。少なくとも、以下のような表現であることが必要でしょう。

ロータリーは、
① ロータリアン同士の親睦を基盤に、
② 立派なロータリアンを育てながら、
③ 価値ある奉仕を通じて、
社会に貢献する世界的な団体である。

この「ロータリーの三要素」をロータリアンの心に植え付けたのは、1923-24年度のRI会長Guy Gundakerが書いた「A Talking Knowledge of Rotary (1916年)」でしょう。そして、この著書の内容が日本で広まったのは、福島喜三次、米山梅吉、小堀憲助、深川純一、田中毅らの大先輩のおかげであることを忘れてはなりません。

その著書では、ロータリーの一業種一会員制の意義として、「ロータリーから各々の職種・業界に派遣された代表者としての認識と義務と誇り」が強調されています。(職種・業界の代表者ではなく) 職種・業界に派遣された代表者というのは、深く重い言葉です。実際、そうした「自尊心」に満ちたロータリアンが各自の職種・業界で活躍してくれば、世の中から汚職、贈収賄、改竄などはずっと減るでしょう。

以下、Guy Gundakerの考え方を中心に、日本のロータリー

の心に根付いてきた親睦、学び、奉仕について概説しながら、“ロータリアンの矜持”を考えていきましょう。

親睦

Guy Gundakerは、「ロータリーの親睦 (fellowship) とは、ロータリーという苗木が成長するために、その根に栄養を与える土壌である」と述べています。ここで留意して欲しいのは、“fellowship”は「志が同じ者同士の連帯意識」という意味だということです。それに対して、“friendship”は「親しい者同士の友情」、また“acquaintance”は「知り合い程度の交友」という意味です。これらのことを踏まえながら、現在のロータリーの目的の第1にある「The development of acquaintance (公式訳語: 知り合いを広めること)」について考えてみましょう。

実は、この表現の原型は (Guy Gundakerが活躍していた当時の) 1912年に制定されたロータリーの目的の第4にある「To promote the scientizing of acquaintance」です。当時の資料では、「scientizing = 必然的な成り行き」と説明されています。したがって、「知り合い程度の交友の必然的な成り行きを推進する」という内容ですから、「acquaintance (交友) → friendship (友情) → fellowship (ロータリーの志を共にする連帯意識) への発展を推進する」という意味であり、少なくとも「知り合いを広めること」ではないのです。要するに、Guy Gundakerは、「ロータリーの志を共にする連帯意識を強め高め合う親睦こそが、ロータリーの基盤である」と述べているのです。

学び

Guy Gundakerは、ロータリーの例会を「学びの場」と捉え、「①会員の事業、生活、生き方に有益な情報を提供する場。②会員同士が知識や意見を交換し、経験を語り合い、誠実な人柄に触れ、敬愛の念を深めていく場。③奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲が湧き上がる場」が例会であると説明しています。その上でロータリーは、ロータリアンにおいては「人間性の向上」を、仕事においては「事業・職種・業界の発展向上」を求めるものであり、社会においては「世の中を良くしていく向上運動」そのものであると述べています。そして、それらのための「訓練の場」がロータリークラブであり、ロータリーの究極の目的は「素晴らしい真のロータリアンの育成である」と明記しているのです。ここで思い出すのは、上記を喝破したかのような米山梅吉の言葉「ロータリーの例会は、人生の道場である」でしょう。さらに、1947-48年度の Kendrick Guernsey RI会長の「入って学び、出でて奉仕せよ」、四つのテストで有名な1954-55年度の Herbert J Taylor RI会長の「ロータリー

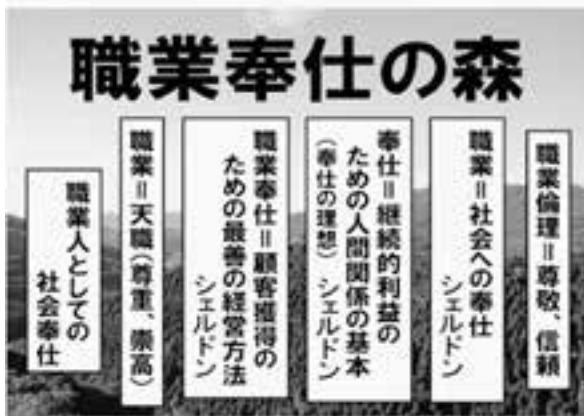
は友情を作り、人を作る」、さらに1974-75年度の William R. Robbins RI会長の「ロータリーの第一の仕事は、人作り」などの言葉も、Guy Gundakerのロータリー観を受け継いだものと言えるでしょう。

但し、ロータリーの「学びの場」は例会だけではありません。地区セミナー、PETS、地区研修・協議会など、志を共にするロータリアンが出会い集いて連帯を深める場、すなわち「親睦を育む場」の全てが「学びの場」でもあるのです。

奉 仕

さて、ロータリーの価値ある奉仕の中で、最も重要な奉仕は何でしょう。もちろん、それは職業奉仕です。理由は、ロータリアンの生活の大部分は、職業を通じて社会に奉仕している時間だからです。しかも、そのおかげで本人、家族、職員、さらに関連業者も含めて生活の糧を得ています。言うまでもなく、職業奉仕が疎かなようでは、社会奉仕や国際奉仕どころではありません。それらに加え、1991-92年度のRajendra K. Saboo RI会長の「高い倫理基準を保持している職業奉仕を失うならば、ロータリーは地域の単なる奉仕団体になり下がる」という言葉も理由の一つです。

日本のロータリアンは、職業奉仕に対して強い思い入れを持っています。それは、職業倫理訓をはじめ、Arthur F. Sheldonの奉仕理念、古沢丈作の大連宣言、四つのテストなどに対する強い共感意識です。共感する理由は、それらの内容が堀流水軒（商売往来）、石田梅岩（石門心学）、二宮尊徳（報徳思想）、近江商人（三方よし）、渋沢栄一（経済道徳合一論）など、日本特有の商売道徳思想に合致していたからでしょう。こうした商売道徳思想を基盤とした「日本のロータリアンの職業奉仕観」を一言で述べるとすれば、「我、道義の職業人たらん」（大連宣言）だと思えます。



その一方、「職業奉仕は難しい」という言葉もよく耳にします。理由は幾つかありますが、最大の理由は、職業奉仕を解説する人によって話す内容が違うからではないでしょうか。例えば、ある人は「職業倫理」を説き、ある人は「Sheldonの考え方こそが職業奉仕だ」と説くからです。それだけに私は、職業奉仕を「1本の太木」ではなく、「1つの大きな森」として考えるべきだと思っています。なぜなら、職業奉仕に対する考え方は、歴史上、間違いなく幾つもあるからです。言い換えれば、職業奉仕という森には、異なる木々群が（互いに影響し合いながら）生い茂っているということです。したがって、職業奉仕を理解するには、それらの

木々全て、すなわち森全体を対象にしなくてはなりません。具体的には、図のような木々群から成っています。

例えば、四つのテストの“真実かどうか”と“みんなに公平か”は「職業倫理」に、“好意と友情を深めるか”は「奉仕の理想」と「顧客獲得の経営」に、そして“みんなのためになるかどうか”は「職業=社会への奉仕」に相当します。

また、「職業=天職」という考え方は、職業奉仕の原語 (vocational service) の vocational (尊重すべき崇高な職業) に込められています。

一方、「職業人の社会奉仕 (自己の職業上の知識や手腕を活かして社会奉仕をする)」は1987年の「職業奉仕に関する声明」で初めて謳われたもので、比較的新しい考え方です。その後も、「ロータリアンの職業宣言 (1989年)」、「ロータリーの行動規範 (2011年)」、「ロータリアンの行動規範 (2014年)」でも謳われ、2016年からは、標準ロータリークラブ定款・第6条の2「職業奉仕の定義」でも謳われているのです。

この「職業人の社会奉仕」は、日本の商売道徳思想にはなかった考え方で、今でも「こんなものは、職業奉仕ではない」と主張する方が少なからずいらっしゃいます。しかし、標準ロータリークラブ定款に記された内容は、ロータリアンである以上、受け入れなくてはなりません。

実は、私は「奉仕」を色分けする必要はないと思っています。例えば、眼科医の私が発展途上国へ行き、先天白内障手術を恵まれない子供たちに無償で実施した場合、これは国際奉仕、職業奉仕、それとも青少年奉仕なのでしょう。ロータリーの目的の第3を思い出してください。そこには、「個人生活、事業生活、社会生活に、奉仕の理念を適用する」(実は、これもGuy Gundakerの考え方)とあります。すなわち、ロータリアンは生活のあらゆる場面で奉仕の理念を貫けばよいのであって、「奉仕」を色分けする必要はないのです。

純真な心

Paul P. Harrisは、著書「My Road to Rotary」の中で次のように述べています。

—「ロータリークラブがメンバーをより良き人間へと導いていく道の一つは、心の中に宿る“少年”を失わせないこと、蘇らせることなのです。」—

実際、私が敬愛するロータリアンは、「仕事や経営に緊張と多忙の日々を過ごす中、ロータリーでは気を許し合った仲間と奉仕を語り、人生を語る。知恵と汗と時間と多少のお金を出し合い、様々な奉仕に夢中で取り組む。なにより、そんな仲間との時間を楽しいと思う」—、そんな少年少女のような純真な心の持ち主ばかりです。あなたも、そうではありませんか？

まとめ

本来なら出会うこともないであろう異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」、仕事や自己の在り方を「学ぶ喜び」、生活のあらゆる場面で社会に貢献する「奉仕の喜び」。そして、それらを楽しいと思う少年少女のような「純真さ」。なにより、自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、多少なりとも自分は立派な人間であると思う「自尊心」。まさに、これらが“ロータリアンの矜持”だと思えます。

地区指導者育成セミナー

〔所 感〕



地区研修リーダー
室津 義定
(尼崎中)

皆さん、本日は、長時間にわたり、地区指導者育成セミナーにご参加いただき有難うございました。

RI会長代理2670地区パストガバナー前田直俊様からは、本地区の活動状況を周到に調査された上で、ご講話をいただきました。本年度は、特にガバナーのリーダーシップの下、ロータリーデー「ひょうご五国+ワールドフェスタ」、ロータリー研修デー、ローターアクトクラブ公式訪問など、画期的で活発なロータリー活動を展開されていることを高く評価していただくとともに、本地区が益々発展することを激励していただきました。

また、2800地区パストガバナー鈴木一作様からは、「ロータリアンの矜持」と題して、ロータリーの目的および職業奉仕に関して、多面的かつ包括的なご講話をいただきました。そして、職業奉仕に対する考え方や手段は様々あり、人によって優先順位が異なることから、職業奉仕を「大きな森」と捉えようと述べられました。

これらを通じて、有益で建設的な地区指導者育成セミナーとなりました。ご講話をいただきましたお二人に、心から感謝いたしますとともに、地区のロータリー活動に生かしていきたいと存じます。有難うございました。



3月24日(日)プログラム

加古川市民会館

一般公開講座(10:00~11:30)

会場：大ホール
司会：千葉 恵美

開会
開会挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
講演 講師 竹田 恒泰
閉会挨拶 大会実行委員長 大庫 俊介(加古川中央)

友愛の広場(10:00~16:00)

会場：加古川市民会館&加古川市民会館前広場

音楽(G-Select)
少林寺拳法演武(播州志方道院)
子供剣道(印南剣道場)
ダンスパフォーマンス(キララ)
ガバナー挨拶
ダンスパフォーマンス(踊ってまつり振興会)
播州一&ヤギリンゴ
バンディオンセとステップアップ
高校生漫才(アンドロイド)
漫才(ザ・ぼんち、ミサイルマン)
フラメンコ(La☆Fuente)
音楽(川と遊ing)

お茶席(10:00~15:00) 会場：加古川市民会館2階 多目的室

将棋ブース(13:00~15:30) 屋外ブース

献血ブース(10:00~16:00) 屋外ブース：姫路ローターアクトクラブ

屋食(11:40~12:50) 各グループごと

本会議(13:00~17:30)

会場：大ホール
司会：西村 雅文(加古川中央)、千葉 恵美

RI会長ご夫妻入場
知事・市長登壇
開会点鐘 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
国歌斉唱
奉仕の理想斉唱 ソングリーダー 木曾 秀行(加古川中央)
開会挨拶 大会実行委員長 大庫 俊介(加古川中央)
挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
ご来賓・他地区ご出席者ご紹介 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
歓迎挨拶 ホストクラブ会長 松本 浩一(加古川中央)
ご来賓祝辞 兵庫県知事 井戸 敏三
ご来賓祝辞 加古川市長 岡田 康裕
地区内パストガバナー、参加クラブ、ロータリーファミリー紹介
物故会員黙祷

挨拶 RI理事 三木 明(姫路)
挨拶並びにRI現況報告 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
地区現況報告 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
……………休憩(15:00~15:15)……………
和太鼓演奏
特別講演「おっと! 夫はロータリアン~ロータリー賛歌」(15:30~)
講師 玉岡かおる
大会登録委員会報告 委員長 津田 信行(加古川中央)
大会信任状委員会報告 委員長 瀧川 好庸(神戸西)
大会決議(案)上程 委員長 室津 義定(尼崎中)
大会決議(案)採択 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
ガバナー指名委員会報告 委員長 大室 備(宝塚武庫川)
表彰
RI会長代理所感 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
記念品贈呈
ガバナーエレクト・ガバナーノミニー紹介
ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
ガバナーエレクト挨拶 ガバナーエレクト 浅木 幸雄(神戸)
ガバナーノミニー挨拶 ガバナーノミニー 高瀬 英夫(西脇)
参加クラブ代表挨拶 西脇RC会長 藤本 武彦(西脇)
次年度ホストクラブ発表 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
次年度ホストクラブ代表挨拶 神戸RC会長 佐井 裕正(神戸)
グランド・フィナーレ
ガバナー謝辞・閉会点鐘 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)

加古川プラザホテル

会員家族懇親会(18:00~20:00)

会場：加古川プラザホテル1F・2F
司会：千葉 恵美

アトラクション① 津軽三味線奏者 高橋 竹仙
民謡歌手 丸山 佳美
開宴
RI会長代理ご夫妻入場
挨拶 ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)
挨拶 RI会長代理 前田 直俊(坂出東)
乾杯 RI理事 三木 明(姫路)
アトラクション② アコースティックギターデュオ リラックスカフェ
手に手つないで ソングリーダー 木曾 秀行(加古川中央)
挨拶 大会実行委員長 大庫 俊介(加古川中央)
閉宴

一般公開講座

「日本の誇りと未来」



講師

竹田 恒泰氏

4月1日に新年号が公表されるのを受けて、明治天皇の玄孫に当たる作家の竹田恒泰氏を招いて、元号の話を中心に、「日本の誇りと未来」と題した講演会が行われ、メンバーや市民ら約1500人が参加しました。

講演の中で、竹田氏は最初の元号である「大化」を日本が定めたことによって、中国との君臣関係を断った歴史を振り返ったうえで、元号を使い続けることは、独立した国家として継続することを意味し、西暦に一本化するべきという議論に対して、世界で唯一の制度である元号はまさしく日本の誇りであると強調されました。

また、新元号をもっと早く公表すべきという意見に対しては、本来は改元の日に明らかにすべきもので、公表が遅くなっても国民の生活に負担になることはなく、さらに、物事が合理的になり過ぎると、かえって大事なものをなくすとの指摘もされました。ユーモアたっぷりの竹田氏の講演に会場は終始笑いの渦に包まれていました。

講演が終わった後、タイムリーな講演で非常に良かった、元号についての認識も改められ、新元号が待ち遠しいという感想が多く聞かれました。



〈竹田恒泰氏プロフィール〉

作家。昭和50年（1975年）、旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫にあたる。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。2006年『語られなかった皇族たちの真実』（小学館）で第15回山本七平賞を受賞。『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』『現代語古事記』など多数の著書を上梓している。また、全国17ヶ所で「竹田研究会」を開催している。

〔代表的な著書〕

『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』（PHP研究所）
『現代語古事記』（学研プラス）
『日本人が一生使える勉強法』（PHP研究所）
『日本の礼儀作法～宮家の教え～』（マガジンハウス）

〔DVD〕

『古事記完全講義・入門編』
『古事記完全講義』BOX1～4全16枚（各ボックス4枚組）
『ロシアよ！領土を還したまえ！』

友愛の広場マップ

〔24日（日） 10：00～16：00〕

加古川市民会館・加古川市民会館前広場





加古川駅へ →

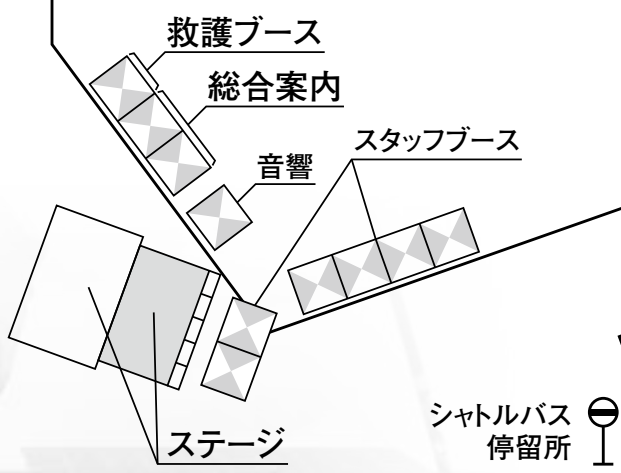
以下のステージが行われました。

グルメ・飲食販売ブース

- 8
- 7
- 6
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

- ① オーダー野球クラブ (加古川クラブ工房shipado)
- ② いっちゃんのプリン (いっちゃんの手作りSweets工房)
- ③ ドリンク(バンディオンセ加古川)
- ④ 日本酒(合名会社岡田本家)
- ⑤ パン・饅頭(ニシカワ食品)
- ⑥ ステーキサンド(りんどう)
- ⑦ 唐揚げ(居酒屋みのり)
- ⑧ 志方牛焼肉(大浦ミート)
- ⑨ かつめし・コーヒー (うまいでえ! 加古川かつめしの会)
- ⑩ にくてん(高砂にくてんの会)
- ⑪ 焼きそば・たこ焼き(たこ魂)
- ⑫ 恵幸川鍋(恵幸川鍋同盟)
- ⑬ 恵幸川カレー(ROCO'S)
- ⑭ ギュッとメシ(加古川漬け肉研究会)
- ⑮ 同上・天むす・鯖寿司(かき庄)
- ⑯ 災害用浄水装置(株式会社芝本商店)

- 10:00~ 音楽(G-Select)
- 10:50~ 少林寺拳法演武(播州志方道院)
- 11:10~ 子供剣道(印南剣道場)
- 11:35~ ダンスパフォーマンス(キララ)
- 12:00~ ガバナー挨拶
- 12:05~ ダンスパフォーマンス(踊っこまつり振興会)
- 12:50~ 播州一&ヤギリンゴ
- 13:15~ バンディオンセとステップアップ
- 13:40~ 高校生漫才(アンドロイド)
- 13:50~ 漫才(ザ・ほんち、ミサイルマン)
- 14:30~ フラメンコ(La☆Fuente)
- 15:00~ 音楽(川と遊ing)
- 16:00 閉会



至 青少年女性センター



③ 献血ブース (姫路ローターアクトクラブ)

第1回 10:00~11:15
第2回 12:30~16:00



本 会 議

〔開会挨拶〕



大会実行委員長
大庫 俊介
(加古川中央)

2018-19年度、国際ロータリー第2680地区・地区大会は、会場を神戸から離れて加古川市という人口26万人足らずの衛星都市で、30年ぶりに開催させて頂きました。大きな施設もなく2会場に分かれての開催であり、また経験不足の東播第2グループであります。総力を挙げて皆様をおもてなしさせて頂きました。ロータリーの寛容と友情の精神にて、小さなことには笑って済ませて頂いたことと思います。ここに深く感謝申し上げます。

RI会長代理として前田直俊様ご夫妻(2670地区PG)、井戸敏三兵庫県知事、岡田康裕加古川市長をはじめ、地区内外から多くのご来賓のご臨席を賜り、また大勢のロータリアン、ロータリーファミリーの皆様のご参加を頂きましたこと、厚くお礼申し上げます。

地区指導者育成セミナーでは、2800地区パストガバナー、鈴木一作様による「ロータリアンの矜持」と題した講話を頂き、また多様化推進セミナーでは2660地区代表幹事の宮里唯子様による「ジェンダーを超えた仲間づくりに向けて」と題した講演を聞いた後、パネルディスカッションでは高瀬英夫ガバナーノミニー並びに次期会員増強委員長の武田寿子様を交えて、女性会員増強問題の発言に聞き入りました。

また、今年は公開講座を2つ準備しました。一つは青少年育成セミナーとして、らんま先生の科学実験パフォーマンスを、そしてもう一つは一般講演として竹田恒泰氏によります「日本の誇りと未来」と題した講演です。それぞれに楽しいひと時を過ごして頂いたものと思います。さらに本会議の中の特別講演では、ロータリーメンバーを亭主に持つ女流作家、玉岡かおる様にお話をお願いしました。

一方、友愛の広場では、加古川市は棋士の町として久保利明前王将を筆頭に6人のプロ棋士を擁しており、今回多面指しの対局をお願いしました。模擬店では東播磨のB級グルメとして売り出し中の「かつめし」や「にくてん」を始め、各種食べ物や地酒なども準備、また淡交会東播支部によるお茶席も用意して楽しんで頂きました。

本会議の最初には前田RI会長代理からビジュアルポイのステージをサプライズプレゼントして頂きました。

さて、本年度の「Be the Inspiration インスピレーションになろう」というテーマを矢野ガバナーは「変化(Change)を恐れず、変化をリードし、新たな機会(Chance)と捉え、挑戦(Challenge)していく」というモットーに読み解かれ、各クラブを回り、この気持ちを話してこられました。

昨年11月には「ひょうご王国+ワールドフェスタ」を開催、大成功を収め、この流れを汲んで今日のこの地区大会をも自ら企画して、インスピレーションあふれるプログラムを組まれました。

限られた時間ではございましたが、最後までこの手作りの地区大会を満喫頂き、親睦と友情を深めて頂いたことと確信した次第であります。ありがとうございます。

本 会 議

〔ガバナー挨拶〕



ガバナー

矢野 宗司

(加古川中央)

国際ロータリー第2680地区の2018-19年度地区大会が、バリー・ラシン国際ロータリー会長の代理としてパストガバナー前田直俊様(2670地区・坂出東RC)ご夫妻を始め、地区内外から多数のご来賓のご臨席を賜る中、盛大に開催されますことを心から感謝申し上げます。

ガバナーになって、どうしても晴れて欲しい日が3日ありました。そのうちの2日が「ひょうご五国+ワールドフェスタ」を開催した11月3・4日、そして3日目が3月24日の今日でした。お陰様で3日も晴天となり、感謝の念で一杯です。

本年度、バリー・ラシン国際ロータリー会長は「Be the Inspiration」をテーマに掲げ、ロータリーが前進への活力になろうと呼びかけました。本年度の地区大会はこのことを踏まえ、私の地元である加古川で、東播第2グループの5クラブが協力して、例年とは異なった手作りの大会、インスピレーションあふれる大会を目指しました。加古川での開催に当たっては、様々な障害がありましたが、それを一つ一つクリアしていったメンバーは頼もしい限りです。

22日には、ポリオチャリティゴルフにおいて親睦を深め、また、東播第2グループのメンバーを中心に前夜祭を開催し、地区大会への意欲を喚起いたしました。さらに本年度の重点項目である公共イメージと認知度の向上を図るため、青少年を対象としたらんま先生による「eco実験パフォーマンス」並びに「日本の誇りと未来」と題した竹田恒泰先生による市民公開講座、そして大規模な「友愛の広場」開催と盛りだくさんなプログラムを用意いたしました。また、地区指導者育成セミナーにおいては、山形よりパストガバナー鈴木一作様(2800地区・寒阿江RC)に「ロータリアンの矜持」と題したご講話を頂き、本会議では、親しくさせていただいている作家の玉岡かおる様より「おっと! 夫はロータリアン」と題したロータリアンにインスピレーションを与えるご講演を頂きます。存分に楽しんでいただければ幸いです。

本年度、私はガバナー行動指針として「変化(Change)を恐れず、変化をリードし、新たな機会(Chance)と捉え、挑戦(Challenge)していく」を掲げ、様々なことに挑戦してきました。今回の地区大会もまさに一つのチャレンジでありました。私の熱き思いの実現にご協力を頂いた皆様に感謝するとともに、大会にご参加頂いたロータリアン並びにロータリーファミリーの皆様にご心より感謝申し上げます。



本 会 議

〔歓迎挨拶〕



ホストクラブ会長

松本 浩一

(加古川中央)

本日は、RI会長代理前田直俊様ご夫妻をお迎えし、兵庫県知事井戸敏三様、加古川市長岡田康裕様を始めとするご来賓の皆様方、また、地区内外より多くのロータリアンとご家族の皆様のご臨席を賜り、2018-19年度国際ロータリー第2680地区・地区大会を開催できますことを、ホストクラブを代表して心より感謝申し上げます。

2018-19年度RI会長バリー・ラシン氏は、年度テーマとして「インスピレーションになろう」と掲げられました。矢野ガバナーはこれを「前進への活力となる人になろう」と捉え、私たちロータリアンの会員一人ひとりが精神、意識を高揚して、人間的にも切磋琢磨し、ロータリーの奉仕の精神で私たちの人生、そして地域社会を変えるために前向きな変化をうながす行動をして行こう、と決意を述べられました。また矢野ガバナーは、バリー・ラシンRI会長が、「大規模なロータリーデーの開催を通じて変化をもたらし、ロータリーのイメージ向上を図りながら地域社会とのつながりを強め、地域にインスピレーションをもたらそう」と、ロータリーデーの開催を強く訴えられたことに呼応し、ひょうご五国+ワールドフェスタの主催や、当地において地区大会開催を決断されました。

本地区大会は、矢野ガバナー年度の地区活動の集大成となります。私ども加古川中央ロータリークラブは会員一同、東播第2グループ各クラブの皆様のご協力のもと準備を進め、今日という日を迎えました。本大会が参加されましたロータリアンの皆様にとりまして、好意と友情、親睦と理解を深める良き機会となりますことを確信しております。どうか十二分に地区大会をお楽しみ下さいませ。

皆様がロータリアンとして一層のご発展を遂げられますことを心より祈念致しまして、歓迎のご挨拶とさせていただきます。



本 会 議

〔兵庫県知事祝辞〕



兵庫県知事
井戸 敏三

皆様、こんにちは。国際ロータリー第2680地区の地区大会開催を心からお祝い申し上げます。ロータリアンの皆様には、地域の活性化に力を注いでいただいておりますことを心からお礼申し上げます。

いつもは地区大会を神戸で開催されていますけれども、今回のように神戸を離れて開催されることは地域の活性化につながります。加古川の皆様は大変ご苦労されたでしょうが、ガバーが非常に良い試みをされたと思います。

さて、昨年、兵庫県創設150年の大きな節目に合わせ、ロータリアンの皆様には、これまでとこれからを考えるイベントを展開いただくなど、大変ご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。

なぜ、東京一極集中は止まらないのか。150年余り前、明治維新の志士たちは、「300諸侯の幕藩体制では欧米列強の植民地主義に対抗できない。朝廷を中心とする中央集権国家を仕立てなければならない。」との決意を持っていたと私は考えています。その思いが叶って中央集権国家が成立し、近代化を突き進み、また敗戦国にもかかわらず一時は世界第二位の経済大国となる発展を遂げました。これは、東京一極で政策決定して、それをしっかりと日本列島全体で取り組んでいける体制だったからだと思います。

しかし、現代もまだ中央集権的な対応をしなければいけないのか。我々は東京で決めたことに従って行動しなければいけないのか。そこが問われる時代を迎えています。東京で決めた画一的な基準が地域の自主的な取り組みを阻害し、時代に合わなくなってきているのではないのでしょうか。この150年の節目に、我々は地方分権を推進するため、立ち向かっていく決意をしております。

あわせて、150年で気づいたことは、やはり兵庫は五つの国でできているということ。厳密にいうと七つの国ですが。地域の特性が五つの国ごとに異なっています。最近ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、五国の特性を漫画で表した「兵庫五国連邦」というポスターを作って、個性の違いを強調させていただきました。「兵庫、けれども、播磨」「兵庫、けれども、但馬」というような標語をつくっています。

また、共通の標語がないだろうかということで、「兵庫2030年の展望」の中で、兵庫がめざす姿を「すこやか」としました。調和のとれた地域を「すこやか」という言葉で象徴しました。なかなかイメージを持ちにくいとも言われておりますが、これは仕方がない。五国の個性が強いですから。五国の強さをしっかりと活かして、日本を先導して世界に繋がる、そういう地域づくりを進めていきたいと考えております。

昨日、明石城築城400年を記念するイベントがスタートを切りました。今、明石城は白鷺城に負けないくらい白くなっています。明石駅からも石垣がよく見えるように木を切って、壁を塗り替えて、雄大さを取り戻しました。何の話かといいますと、神戸新聞が五国の色を募集され、播磨の色は白になりました。きっと白鷺城の白からきたと思うのですが、明石城もまさしく白で、播磨は真っ白になっております。但馬は蟹からきた朱の色でございます。色もそれぞれの地域の特性を表すのではないのでしょうか。白はどんな色にも染まります。つまり、可能性の大きさを示しているとも言えるのかもしれない。これからも地域の特性を活かしながら兵庫づくりを進めてまいりますので、ロータリアンの皆様には是非ご協力をお願いいたします。

お祝いの歌をつくってまいりました。

「花咲きて ここ加古川に ロータリアン 集いて期待 地域の未来」

ロータリアンの皆様、これからも地域づくりの先頭に立ってご尽力いただきますことを期待いたします。そして、2680地区の地区大会の盛会をお祝い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。

本 会 議

〔加古川市長祝辞〕



加古川市長
岡田 康裕

皆様こんにちは。ご紹介いただきました加古川市長の岡田康裕でございます。

本日、国際ロータリー第2680地区2018-19年度地区大会が、盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

矢野宗司ガバナーをはじめ、ロータリアンの皆様方におかれましては、これまで奉仕の精神のもと、様々な活動に積極的に取り組まれ、地域社会の発展に貢献してこられましたことに深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

加古川市での地区大会開催は、30年ぶりと伺っております。久方ぶりに加古川市を訪れる方、また今回初めて加古川市を訪れた方もいらっしゃると思います。兵庫県内各地から加古川市へお越しいただきました多くの皆様方を心から歓迎いたします。

清流加古川の恵みにより発展してきた本市は、南部に播磨臨海工業地帯の一翼を担う都市部が広がる一方で、北部には豊かな自然を有する魅力あふれるまちです。

また、清流加古川を活かした取組として、河川敷で開催される「加古川マラソン」や、市内をウォーキングする「加古川ソーデーマーチ」には、毎年全国からたくさんの方にご参加いただいております。

そして、加古川のグルメといえば「かつめし」です。昨年にはモスフードサービス様に、かつめしのハンバーガー、ライスバーガーを販売していただき、現在はカルビー株式会社様に加古川かつめし味のポテトチップスを販売していただいております。このようにナショナルブランドを通じて、かつめしの知名度が関西のみならず全国で高まっておりますので、皆様にはこの機会に本場のかつめしを楽しんでいただければと思います。

さて、わが国は急速な人口減少というかつて経験したことがない課題に直面しております。社会に様々な影響が懸念される中で、いかにして公共サービスの質を高め、地域に暮らす方々の生活満足度や幸福感を高められるかということが、行政の使命であり、本質であると考えております。市民の皆様一人ひとりが生活に充実感を持ち、互いを思いやる温かい気持ちを抱き、生まれ育った地域に愛着を持ってわがまちの魅力を語る、そんな幸せあふれるまちにするために全力を尽くしてまいります。

国際ロータリー第2680地区の皆様方におかれましては、本年度のテーマである「BE THE INSPIRATION」のとおり、地域社会発展の活力として、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、国際ロータリー第2680地区の今後ますますのご発展と、本大会が会員の皆様にとって実り多い大会になりますことを祈念いたしまして、お祝いと歓迎のご挨拶といたします。

本 会 議

〔RI理事挨拶〕



RI 理事
三木 明
(姫 路)

皆様こんにちは。三木でございます。本年度、日本の理事は2人おりまして山形の石黒慶一理事が本来ご挨拶申し上げるべきところでございますが、急な用事ができまして参加することができませんで失礼いたします。国際ロータリー第2680地区の皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいと伺っておりますのでよろしくお願い致します。

このたび国際ロータリー第2680地区、矢野宗司ガバナーがフルタイム4輪駆動、ブルドーザーと言うニックネームを背負いながら、加古川の地で地区大会を開催されました。素晴らしい成果をあげながら進んでいると思っております。

バリー・ラシン国際ロータリー会長はお隣の2670地区、坂出東ロータリークラブから前田直俊パストガバナーをRI会長代理として当地区に派遣してくださいました。2680地区と2670地区は昔同じ地区でありまして大変仲良しの地区でございます。

矢野ガバナーが、ぜひ前田直俊パストガバナーにRI会長代理としておいで頂きたいという熱意が通じましておいでいただくことができました。本当にありがとうございます。

矢野ガバナーがよくおっしゃっていました。加古川では会場が2つに分かれる、施設や設備、そして食事はどうだろうかなど、いろいろと心配しておられましたけれども、全く杞憂でございます。矢野ガバナーの思いが通じ、この素晴らしい地区大会が開催されましたことをお祝い申し上げます。

矢野ガバナーの頭脳は大変明晰でございまして、いくつものことを同時進行でこなされます。新しいアイデア、実行力、行動力、全てにおいて素晴らしい成果をあげておられます。あと3ヶ月少しでこのガバナーの任を終えられるわけですが、その後のことにも心を配り、パストガバナーになられた後にも次の目標に向けて、この後ロータリーがどのようにしていけばいいのか、またこの地区はどのように進んでいけばいいのか、そんなことを考えながらこの地区大会を考え、そして成功裏に終え、また明日から熱く突き進んでいかれることと確信しております。

そして矢野ガバナーがあれをしたいこれを知りたいとおっしゃることを実現するために、加古川中央ロータリークラブの皆様やコ・ホストクラブの皆様が陰で、一生懸命働かれたことを忘れてはいけないと思いました。

今朝、竹田先生がおっしゃいましたけれども、世のため人のため、それがロータリーでございます。そして、人を大切に作る心、日本人の心を大切にしようということを教えてくださいました。

この後には玉岡かおる先生が素晴らしい講演をしてくださいます。玉岡先生の夫君は私と同じ歯科医でございます。ご夫妻ともに親しくさせていただいておりますこと、感謝申し上げます。

この地区大会では、山形からおいで下された鈴木一作パストガバナーの職業奉仕論を中心とする奥深いお話を聴かせていただき、心の洗われるようなロータリーの理念を改めて学ぶことができました。心洗われるひと時でございました。

また、いろんなアトラクションやイベントなど盛りだくさんでございます。これも矢野ガバナーの行動力のなせる技ではないかと思っております。最後までぜひ皆さんとともにロータリーを楽しみ、そして、この2680地区矢野宗司ガバナー率いる私たちのロータリーがいつまでも繁栄しますようお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

本 会 議

〔RI会長代理挨拶並びにRI現況報告〕



RI 会長代理

前田 直俊

(坂出東)

さあみんな集まりました。敬愛なる矢野ガバナーが主催する国際ロータリー第2680地区大会2日日本会議が始まります。矢野ガバナーの思いがこもった播磨の伝統的中核都市加古川でロータリーの現場にいる自分を好きになってください。国際ロータリー第2680地区のロータリアン、ご家族の皆様、ロータリーファミリーの方々、また地区外から来られている多くのご来賓やロータリー関係者の皆様こんにちは。私はRI2670地区坂出東ロータリークラブのバストガバナー前田直俊と申します。バリー・ラシンRI会長及びエステル夫人の代理として当地区大会に参加できましたことは私たち夫婦にとりまして大変光栄に思うと同時にその責任の重さを痛感しております。

地区大会の目的は、親睦とロータリーに対する意識高揚を図る講演や最近のRIや地区クラブの課題の討議を通してロータリーの基盤を向上していくことです。今回の地区大会が、矢野ガバナーのリーダーシップのもと地区内ロータリアンがこの加古川で一堂に会し交流を深め、地区の行動指針にありますように、チェンジを恐れず新たなチャンスと捉え、ロータリアンがみんなで奉仕の理念にチャレンジし、新旧世代が一緒になって会員同士のより強い絆を深め、充

分に楽しんでいただける大会となりますことを心より祈っております。

この地区は、RIの目標の推進に際立った努力をした人を表彰する最高の名誉である超我の奉仕賞を7人受賞しておられる名誉と伝統のある地区です。また、私たち夫婦が住んでいます四国とも因縁浅からぬ仲です。1964-65年度において日本の地区数が10になった時、地区番号368として兵庫と四国が初めて一緒になりました。その時のガバナーは神戸ロータリークラブの瀧川清一氏でした。1970-71年度で地区数が17になった時、地区番号368で兵庫のみとなりました。その時のガバナーは神戸東ロータリークラブの高山忠雄氏でした。そして1991-92年度で当地区は地区番号が2680となりました。すなわち1964年から1971年までの7年間、両地区は全く同一エリアとして行動を共にし、歴史的に特別に友好的だったといえます。また付け加えますとこの地、加古川においては1988-89年度に加古川ロータリークラブが神木薫様をガバナーとして輩出しております。

さてRIの現況と日本の現状について説明させていただきます。7月1日入会者を含まない2018年7月1日現在の会員数は1,195,107名で、前年度より7830人減少しております。クラブ数は538地区35,681クラブで、前年より25クラブ増加しております。日本は会員数87,953で、前年度より198人増加しております。クラブ数は2,267クラブで、前年度より3クラブ減少しております。女性会員数は世界では265,329人で前年度より6,824人増加しており、女性会員数の割合も21.5%から22.2%まで上昇しております。一方日本において、女性会員数は5,748人で、前年度より319名増加しており女性会員数の割合も6.19%から6.54%まで、軽度ではありますが着実に上昇しております。それでも女性会員数の割合



は世界に比べると相当低く、バリー・ラシン会長が言われるように奉仕活動の意欲がある女性に選ばれる団体になれるように日本のロータリーも充実していかなければなりません。

ここで会員数上位国の2位であるインドは現在139,641人ですが、IMF国際通貨基金発表によるインドの経済成長率の目覚ましい発展と2030年には中国とアメリカを抜いてGDP世界1の国になると予想されており、12億人を超える人口の半分以上が25歳以下で、若い国であるという事実がある上にインドにおける中間層が2020年には6億人にも昇るとみられており、そうしたことから今後インドのロータリーの会員数はさらに上昇すると思われま

す。インターアクトクラブは世界で、22,952クラブ527,896人で、日本には612クラブあります。2018年3月13日に50周年を迎えたローターアクトクラブは11,198クラブ、257,554人で、日本においては307クラブあります。バリー・ラシンRI会長は、「若い世代のロータリークラブへの参加を促すため、クラブの規則を変更したり、様々なニーズに応える新しいクラブが結成できるようにし、ローターアクトの強化に取り組み、ローターアクトクラブがロータリーへとスムーズに移行できるようにしましょう」と言われています。貴地区においても今後のさらなる活性化と充実をお願いしたいと思います。またロータリー青少年交換プログラムの参加者は8,695人です。

次にロータリー財団状況ですが、ロータリーカード発行枚数は2018年6月末で5,425枚です。皆さんの今後のカード取得及び積極的な活用をよろしくお願い致します。財団への寄付は3億4110万ドルで前年度よりも3670万ドル増加しています。プログラムの状況ではポリオプラスに1億5600万ドル支出しており、これは前年度よりも4770万ドル増えております。ロータリー平和フェロースhip数は2002年以来1,245人で、2017-18年度フェロー数は94名で400万ドル使っております。地区補助金は2700万ドルで、前年度より120万ドル増加。グローバル補助金は7700万ドルで、前年度より410万ドル増加という状況になっております。一方、国内では寄付合計が18,654,317ドルとなっておりそのうち年次基金12,643,201ドル、恒久基金が3,308,823ドル、ポリオプラ

ス基金が2,468,007ドルとその他の基金とになっております。2017-18年度世界における認証者は、AKS会員は108人、メジャードナーは2,918人、ポールハリスフェローは50,496人でした。貴地区にはAKS会員が2人おられ、さらに冠名基金は個人が7名、クラブで1つ持たれています。このうち姫路中央ロータリークラブは冠名基金を持っている日本で唯一のクラブです。今年度は2月18日現在新たに157人のポールハリスフェローと6人のベネファクターと5人のメジャードナーが出ています。また、補助金申請ではグローバル補助金3件、地区補助金1件の今年度4件が承認されており、さらにグローバル補助金使用1件が準備中のようです。非常に地区として前向きと思われま

す。さてポリオについてですがバリー・ラシン会長は次のようにおっしゃっています。「私たちの多くにとってこの30年間にロータリー全体を1つに結びつけてきた活動『ポリオ撲滅活動』がインスピレーションとなってきました。今はポリオ撲滅活動の正念場であり、新規症例があるたびにそれが史上最後の症例となる可能性があります。それまでは今行っている全てのことを続けなくてはなりません。毎年4億5000万人の子供へ予防接種を続けなければいけません。サーベイランス（監視）も同じく続けなければいけません」と。

ロータリーは1979年、3Hプロジェクトとしてフィリピンで6,000,000人の子供への一斉予防接種を行いました。その後1985年に創設されたポリオプラスプログラムを通じてポリオのない世界というビジョンを初めて思い描きました。そのビジョンが1988年に世界保健総会でポリオ撲滅を決議しGPEIすなわち世界ポリオ撲滅推進活動を立ち上げたことに影響をもたらしました。GPEIが立ち上げられて以来31年間、主要パートナー団体の協力でポリオ撲滅活動が続けられ、ポリオの発症数は99.9%減少しました。ロータリーを中心とした主要パートナー団体はそれぞれの強みを生かして異なる役割を担っています。

ロータリーはアドボカシーを担当し、世界保健機関は戦略担当、米国疾病対策センターはウィルス対策担

当、ユニセフは予防接種担当、ビルアンドメリングダゲイツ財団はリソース担当としてお互いに協力しながら撲滅活動を推進してきました。いよいよ撲滅実現に向けて、第4コーナーを回りゴール寸前のラストスパートの時期を迎えていると言えます。

次に当地区の素晴らしい活動について話をしたいと思います。毎年ロータリー年度の最初の「ザ・ロータリアン誌」では新しい会長とその家族を紹介するのが慣わしになっているようです。バリー・ラシン会長の感想のひとつです。「編集者が選んだ写真を見たとき私は思わず微笑みました。なぜならその写真の主役は明らかに私ではなく妻のエステルでもなかったのです。それはロータリーなんてお構いなしに同じ方向に向かって私たちの脇を通り過ぎていくフラミンゴの一群でした。1羽を除いては。

バリーラシンRI会長夫妻



(一羽のフラミンゴだけが違う方向性に向かおうとしている!!)

ロータリー活動の進路を決めるときであっても他にもっと良い別の道は無いかと探してみる好奇心、勇気そして信念をこの表紙は表しています。」と会長は考えられました。この横を向いているフラミンゴの1羽をよーく見てください。矢野ガバナーに似ていてそっくりでしょう。このフラミンゴはチェンジを恐れず、チェンジをリードし、新たなチャンスと捉え、チャレンジしていく1羽です。まさにスーパーインスピレーションです。

思い出してください。メリケンパークで開催されたひょうご5国+ワールドフェスタ、素晴らしい2日間のロータリーデーでした。約75,000人の来場者に裏打ちされるように全国でも注目の、ロータリーを世の中に

打ち出せるフェスタでした。これこそプレジデントラシンによるインスピレーションに包まれた公共イメージ向上そのものです。矢野ガバナーとそれを支える周りの人たちはまさにピープル オブ アクションです。

次に例年10月から12月に開催される各種のセミナーを1日にまとめて実施する「ロータリー研修デー」が初めての試みとして開催されました。革新的な計画であり合理性に裏打ちされたそのアイデアは他地区の大いなる模範となるべきものです。さらにローターアクトクラブ公式訪問を自分のプログラムに追加した勇気とその前向きな姿勢に感銘を受けました。現在は当地区ローターアクトクラブは実質7クラブで、ローターアクターは60名弱とやや少ない情勢ですが、この革新的な公式訪問が続けば、その数においても質においても今後さらなる飛躍が望めると思います。何か新しいことを始めるには常識という限界を破らなければいけません。今自分が考えている常識も破ってしまえば常識ではなくなります。

さてバリー・ラシン会長は会員増強について次のように考えられております。「ロータリーの会員数はこの20年間1,200,000台のままです。伸びがなく会員の年齢層は上がってきています。ロータリーは何より会員制団体です。掲げた目標を達成したいのであればまずは会員増強に取り組まなければなりません。私たちの誰もが、入会候補者をロータリーに誘うだけでなく、クラブが何か価値のあるものを新会員に提供し迎え入れられるようにして、会員増強に真剣に取り組む責任があります。

国内の会員数の現況を見てみましょう。過去5年間、ゾーン1、ゾーン2、ゾーン3、共に会員数はわずかではありますが増加傾向にありました。直近では、2018年7月1日と前年度同期の会員数を比べますと198人の増加が見られました。2016-17年度と2017-18年度の全国の会員数の変化と地区数を見てみましょう。2017-18年度を元年度としますと元年度においては、40人以上の増加の地区は6地区みられ、うち2地区は60人から70人と会員増加が見られました。プラス増加の39人までで15地区見られ、マイナス地区は13地区あり全体の38%でした。前年度においても40人以上の増加は6地区で、プラス増加の39人まででは17地区あ

りました。 マイナス地区は11地区あり全体の32%でした。一方全国会員数変化割合と地区数を見てみましょう。同じく2017-18年度を元年度としますと元年度は1.5%以上の増加は全国で6地区見られ、前年度には見られなかった3.01%の増加が1地区に於いてありました。プラス増加1.49%までで15地区見られ、全体の44%でした。前年度においては1.5%から2.1%増加枠には6地区ありました。プラス増加1.49%までで17地区見られ全体の50%でした。

このように見てきますと会員増強の立場からでは、現状では目標が前年度までは2%増でしたが、今年度からは3%増までを目標に持てることがわかりました。3%以上を望む場合は年度末のオートレギュレーションを考えますと調整には引っかけられない新規クラブを立ち上げるべきです。地区により、すでにクラブ立ち上げを含む0から3%増のところは新規クラブ以外のところで、ますますの努力が必要と思われます。任期終了直後の各ガバナーに再度ガバナーをしなければいけないとなったら何をするかを聞き、その中に花の山を見つける事も大切でしょう。女性会員及びローターアクトの会員増強にも力を入れましょう。さらに海外とは事情が違っており、団塊の世代に対して高齢者に寄り添った退会防止対策を確立することが必然です。そして貴地区に対しましてはその課題として今後会員数の増加、女性の会員増強、ローターアクトのさらなる充実を望んでおります。

最後に、矢野ガバナーのように何事も物事に挑むときには、過去の自分をライバルとしてそれを乗り越えて、新たな時代の歯車を回すチャンスをチェンジとし、チェンジを恐れずチャレンジと捉えていかなければいけません。Just Do It! とにかく始めましょう。小さなチャンスも大きなチャレンジに変えていきましょう。ご静聴ありがとうございました。

国際ローター/ローター財団 運営報告	
●ロータークラブ (創立1905年) (2019年7月1日現在)	
会員数 ※2017年変更により、7月1日入会者を含まない	1,195,107名
クラブ数	35,681クラブ
地区数	526地区
国/地域数	200以上
34地区の会員数(グアム等含む)	87,953名
34地区のクラブ数(グアム等含む)	2,257クラブ
女性会員	265,329名
34地区の女性会員数(グアム等含む)	5,748名
●インターアクトクラブ (12-30歳) (2018年7月1日現在)	
(創設1952年、米国フロリダ州、タルボーン郡によって発祥)	
クラブ数	22,953クラブ
日本のクラブ数	612クラブ
●ローターアクトクラブ (18-30歳) (2018年7月1日現在)	
(創設1965年、米国メソカリフォルニア州、シャローット・アムス邸によって発祥)	
クラブ数	11,198クラブ
●ローター-地縁社会共同財団 (RSC) 創設1986年 (2018年7月1日現在)	
RSC数	9,936隊
日本のRSC数	48隊
●ローター-青少年交換プログラム (創立1929年) (2016-17年度年次報告より)	
年次報告	8,695名
●ローター-カード発行状況 (日本) (2018年6月末現在)	
マスターカード (オリーブ)・ダイナースクラブ (個人・ビジネス・ゴールド含む)	5,425枚
※2017-18年度国際ローター収支報告 年次報告より	
収入総額	104,121千ドル
内訳 会費	73,380千ドル
投資収益 (純損失)	3,368千ドル
義演、その他の活動	27,373千ドル
支出総額	100,184千ドル
内訳 運営費	79,497千ドル
義演、その他の活動	19,471千ドル
一般会計	1,166千ドル
※2017-18年度国際ローター財団収支報告 年次報告より	
収入合計	389,142千ドル
内訳 投資収益 (純損失)	341,135千ドル
寄付	56,256千ドル
補助金、その他の活動 (純額)	1,751千ドル
支出合計	328,472千ドル
内訳 プログラム補助金	271,225千ドル
プログラム運営費	25,462千ドル
寄付推進費	20,350千ドル
一般管理運営費	5,435千ドル
*手簿収入5,950千ドルおよびポリオプラス基金振替の額1,410千ドルは含まれていません。	

2017-18年度 日本国内の寄付状況	
寄付総額	18,854,317千ドル
内訳 年次基金	12,643,201千ドル
恒久基金	3,308,823千ドル
ポリオプラス基金	2,486,097千ドル
その他の基金	234,296千ドル
2017-18年度 贈証者 (後継)	
アーチ・クラフ・ソサエティ会員 (AES)	108名
メジャードナー	2,918名
遺贈友の会	565名
ベネフィットター	2,417名
ポール・ハリス・フェロー (PHF)	50,496名
※2017-18年度 ローター財団状況 ローター財団信託カードより	
寄付状況	
寄付総額	4億1470万ドル
内訳 年次基金	1億3,140万ドル
恒久基金	8,800万ドル
ポリオプラス基金	1億5,770万ドル
その他の基金	3,760万ドル
※恒久基金：新規契約の総額を含む	
※ポリオプラス基金：ポリオプラスへの地区財団活動資金 (DGF) の寄贈とそれに伴う国際財団活動資金 (IF) からの上乗せ金、提携クレジットカードのロイヤリティ、ポリオプラスへの他財団宛名指定期寄付を含む。	
※その他の基金：グローバル補助金への現金拠出、使途推奨冠指定期寄付、冠指定期寄付への現金寄付を含む。	
プログラム状況	
ポリオプラス	
2017-18年度 補助金採択額	1億5,650万ドル
ポリオ富在国	3カ国 (ニカラガ、パナマ、ベネズエラ)
ローター-専攻フェローシップ	
2002年以降 フェロー数	1,245名
2017-18年度 フェロー数	94名
授与額	400万ドル
地区補助金	
2017-18年度 承認数	503件
授与額	2,740万ドル
グローバル補助金	
2017-18年度 承認数	1,306件
授与額 (送金等の調整を含む)	7,690万ドル



本 会 議

〔ガバナー地区現況報告〕



ガバナー
矢野 宗司
(加古川中央)

本年度、ガバナーとして、下記の行動指針、4つの方針、8つの変革、3つの挑戦を目標として、地区活動を行ってきました。

地区活動

ガバナー行動指針
変化(Change)を恐れず、変化をリードし、新しい機会(Chance)と捉え、挑戦(Challenge)していく

4つの方針

1. RIテーマ・ロータリーの目標の達成	2. ロータリーデーの開催
3. ロータリーのプログラムの積極的実施	4. My ROTARYの登録率50%以上

8つの変革

1. 補助金管理セミナーの改革	2. 新形の地区委員会スタッフ会議の開催
3. 地区委員の委嘱の改革	4. PETSの充実
5. 4地区合同委員会会議の開催	6. ローターアクトクラブの拡大
7. ロータリー研修デーの実施	8. 基盤だった研修システムの構築と実施

3つの挑戦

- 「ひょうご五国+ワールドフェスタ」の開催
- 地区大会を加古川で開催
- 新クラブ設立とインターアクト・ローターアクトクラブの拡大

すべてを触れるには時間が足りませんので、詳細はガバナー月信6月号で述べることにし、今日は地区の1年間の歩みについて「5つの感謝」をテーマにして報告をさせていただきます。

まず1つ目はMy ROTARYの登録についてです。50%以上の登録を目標にしていたのですが、3月22日現在、59.97%と大きく目標を上回り、73クラブ中56クラブが目標を達成されました。2018年1月時点では21.54%とかなり出遅れていましたが、本年度に入って、大きく数字を伸ばし、現時点では2660地区とほぼ肩を並べ、全地区のトップを競うまでになりました。これは、ガバナー補佐並びにクラブ会長・幹事のリーダーシップによるものです。皆様のご協力に深く感謝いたします。

2つ目の感謝はロータリーデーとして開催した「ひょうご五国+ワールドフェスタ」です。「地球のために 平和のために 世界のために」をテーマとして昨年11月3・4日に神戸メリケンパークで開催されたこのイベン

地区の一年間の歩み

My ROTARYへの登録に感謝
■3月22日現在 My ROTARY登録率 59.97%
目標の50%達成クラブ 56/73クラブ(4分の3以上のクラブが達成)
昨年の3月18日(PETS) 登録率23.69% 50%達成クラブ7クラブ 会員エレクト23/73
・2019年1月時点 上位4地区

地区名	2018年1月	2019年1月	伸び率	※50.0%(2月 7日)
2660(大船北部)	36.27%	57.35%	+21.08%	
2770(成玉東)	32.10%	52.97%	+20.87%	
2530(福富)	45.27%	52.55%	+ 7.28%	※52.7%(2月12日)
2600	21.54%	51.10%	+29.56%(+38.43%)	

・100%達成クラブ 尼崎中・尼崎南・神戸西海・神戸モーニング・朝石西・洲本・香色・朝霞山
・80%達成クラブ 尼崎東・西宮イブニング・西宮東川・船山・HYOGOロータリーモーター・加古川中央・淡路中央
・全クラブが目標を達成したグループ 尼崎グループ・阪神第3グループ・神戸第2グループ・東播磨1グループ・淡路グループ・西播磨2グループ・豊後グループ

トは青天にも恵まれて2日間で約75,000人の来場者を数え、国内最大のロータリーデーとなりました。兵庫県政150周年特認事業として県から500万円の助成金もいただき、公共イメージと認知度の向上に大いに貢献できたと確信します。

地区の一年間の歩み

ひょうご五国+ワールドフェスタの協賛に感謝

「ひょうご五国+ワールドフェスタ」
(2018年11月3・4日 神戸メリケンパーク)
テーマ:「地球のために、平和のために、世界のために」
2日間で約75,000人が参加する国内最大のロータリーデーとなった。

予算総額 約2,400万円	・兵庫県 500万円
(協賛1つの協賛団体数:18)	・協賛金 1,695万円

ロータリー・ボイスに感謝される

ロータリーの旗印

開催に当たって、企業やクラブ、さらにはロータリアンから多額の協賛金のご協力を頂き、ガバナー補佐には本当に苦勞をおかけしました。ロータリー、ロータリー

ファミリーが一体となった、素晴らしいロータリーデーであったと思います。

そして、3つ目が青少年プログラムについてです。本年度は特に力を注いだ分野であり、積極的に取り組んで頂いた地区委員の皆様へ感謝いたします。



4つ目が「ロータリー研修デー」です。この新しい試みは私が地区委員長になった時から描いていた構想です。遠方のクラブの負担を軽減し、1日に集約することによって充実した研修を行う、また、各セミナーの担当者は同じ時間帯で行われるセミナーの中で、参加者にアピールするため、しっかりとした内容を検討する必要があります。



参加者は約600人、朝から夕方まで複数のセミナーに参加する人も多数いて、盛り上がった研修デーとなりました。

そして、5つ目が加古川での地区大会の開催。地区内

のロータリアンの中にも加古川に初めて来られた方も多数おられると思います。地域があつてのロータリーです。地元で開催するには様々な障害がありました。しかし、そんな中、しっかり準備と企画をしていただいた加古川中央ロータリークラブ並びに東播第2グループの皆様へ心より感謝いたします。そして、昨年以上の数のご登録を頂いたロータリアンの皆様の友情に深く感謝いたします。



「Be the Inspiration」、インスピレーションあふれる大会にすべく、会場外にもステージや屋台コーナーも盛りだくさんにし、多くの市民の皆様にもご参加いただき、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る大会を目指しています。是非、お楽しみ下さい。



本 会 議

〔特別講演 「おっと！ 夫はロータリアン～ロータリー賛歌」〕



講 師

玉岡かおる 氏

加古川市在住の人気作家、玉岡かおる氏。夫は、加古川中央RC所属の会員歴30年の元会長。その縁あって、本会議の基調講演をお願いすることになりました。

冒頭、玉岡氏は日本が東京一極集中、兵庫県も神戸一極集中の傾向の中で、加古川で地区大会を開催することは、パワーの分散になり、地域の活性にとって何よりであり、今後もいろいろな地域で開催されることを望みますと言われ、その後、ロータリーとの関わりについていろいろとお話をされました。

30年前、まだ専業主婦で子供も小さく、狭い視野の世界で生きていた自分は、夫がロータリアンになったことにより、豊富な体験をさせていただいた。ロータリーは家族のこともしっかりと考えてくれた、クリスマス例会では子供たちを楽しませてくれ、また、ママ友ならぬロタ妻の会で親睦を深めた。さらに、仕事では難しい顔をしている夫が穏やかな顔をして、地域社会や世界に目を向けている姿を見るのはかけがえのない経験だったなど、ロータリーにおけるいろいろな経験を語られました。

また、「ラストラブ」という作品はロータリー活動の中で関わっている米山奨学生をヒントにネパール、ヒマ

ラヤを舞台にした作品であり、単独でポカラの町に行っている時に阪神・淡路大震災があり、文明の壊れた町、神戸と文明を持たずに大自然の中を手探りで命を繋いでいく人々を描く作品に変更した、これも夫がロータリアンでなかったら生まれなかった作品であるという裏話も披露されました。

そして、講演の後半は歴史小説で「お家さん」「花になるらん」「姫君の賦～千姫流流～」と女性の活躍を描いて来られた作家らしく、世界のロータリアンの妻について私達も知らないことをいろいろ話されました。エレノア・ルースベルトやジャクリーン・ケネディといったロータリアンであった大統領の妻たち、更にはクレメンタイン・チャーチルやグレース・ケリーなど、矢野ガバナーが課した、いつもとは違うテーマに対しても、素晴らしいお話をされる玉岡氏はさすがとみんなも聞き入っていました。

そして、最後は、日本の素晴らしい歴史、残されたものを受け継ぎ、さらに誇りと共に次の時代に渡すのが私たちの務めであり、その中核をなすのがロータリーである、とロータリー賛歌で講演を終えられました。

〈プロフィール〉

作家 大阪芸術大学教授 兵庫県教育委員
兵庫県三木市生まれ 神戸女学院大学卒業

15万部のベストセラーとなった神戸文学賞『夢食い魚のブルー・グッドバイ』（新潮社）で'89年、文壇デビュー。

著書には『銀のみち一条』（新潮社）、『負けんとき ヴォーリズ満喜子の種蒔く日々』（新潮社）、『虹うどうべし 別所一族ご無念御留』（幻冬舎）、『ひこばえに咲く』（PHP研究所）、『にっぽん聖地巡拝の旅』（大法輪閣）など、年1冊のペースで多数出版中。

舞台化、TVドラマ化された『お家さん』（新潮社）で第25回織田作之助賞受賞。

最新刊は『姫君の賦 ～千姫流流～』（PHP研究所）。

加古川市文化賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞、大阪サクヤヒメ表彰特別賞をそれぞれ受賞。

本 会 議

〔大会特別委員会報告〕

大会登録委員会報告



大会登録委員長
津田 信行 (加古川中央)

大会登録委員会よりご報告申し上げます。
本地区大会の登録者総数は3月24日現在で、1,974名
でございます。

その内訳は、
ご来賓 21名

地区外ロータリアンならびにそのご家族 31名、
地区内ロータリアンならびにそのご家族 1,905名、
プロバスクラブ会員 17名、

でございます。

そして、その他にも関係の皆様方といたしまして、
インターアクトクラブ、ローターアクトクラブなどロー
タリーファミリー、また各学友会の皆様など、多数の
登録、参加をいただいております。

あらためまして、皆様方の厚い友情に感謝し、大会
登録委員会からのご報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

大会信任状委員会報告



大会信任状委員長
瀧川 好庸 (神戸西)

大会信任状委員会よりご報告申し上げます。

地区内73ロータリークラブから信任状が提出され過
日精査いたしました。

それに基づき、昨日12時30分より委員会を開催し73
ロータリークラブ115人の皆様がいずれも国際ロータ
リー細則第16条050.1項に対し、適正に選任されている
ことを確認いたしました。ここにご報告いたします。

大会決議(案)上程



大会決議委員長
室津 義定 (尼崎中)

大会決議委員会から、本大会の大会決議案を上程
させていただきます。

決議案はパンフレットの35ページから36ページに
記載されております通り、第1号から第10号までで
ございます。

以上、上程させていただきます。

大会決議(案)採択



ガバナー
矢野 宗司 (加古川中央)

ただ今上程されました決議案に対して賛同の方は拍手を
お願いいたします。(拍手)

決議案は皆様のご賛同により採択されました。
ご協力ありがとうございました。

ガバナー指名委員会報告



ガバナー指名委員長
大室 儼 (宝塚武庫川)

ガバナー指名委員会よりご報告申し上げます。

ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第14条、
第20項の規定に基づきまして、国際ロータリー第2680地
区の2021-22年度ガバナー候補者として、伊丹ロータリー
クラブの吉岡博忠会員を、指名いたしました。

その結果をガバナーに報告いたしました。

地区大会決議〔2018-19年度 国際ロータリー第2680地区〕

決議第1号

国際ロータリー会長バリー・ラシン氏の 2018-2019年度のテーマに協力する件

国際ロータリー会長バリー・ラシン氏は、本年度のRIテーマとして「インスピレーションになろう」“BE THE INSPIRATION”を掲げ、呼びかけている。すべてのロータリアンは、この大会を機にさらに決意を新たに、積極的に会長のテーマを推進、協力することをここに決議する。

決議第2号

国際ロータリー会長バリー・ラシン氏に対し、 前田直俊RI会長代理の派遣に感謝する件

本大会の開催にあたり、国際ロータリー会長バリー・ラシン氏は、前田直俊氏をRI会長代理として派遣された。我々は、バリー・ラシン会長のご好意とご配慮に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第3号

国際ロータリー会長代理前田直俊氏に 感謝する件

前田直俊氏は、国際ロータリー会長代理として本大会にご臨席くださり、バリー・ラシン会長のメッセージを伝達されるとともに、有意義かつ感動的なメッセージを述べられ、本大会をきわめて意義あるものにされた。我々は、RI会長代理 前田直俊氏に対し、心から厚く感謝の意を表することをここに決議する。

決議第4号

国際ロータリー第2680地区直前ガバナー 瀧川好庸氏への感謝の件

直前ガバナー 瀧川好庸氏は、2017-2018年度ガバナー在任中、国際ロータリー会長イアン H. S. ライズリー氏のテーマ「ロータリー：変化をもたらす」“ROTARY: MAKING A DIFFERENCE”の趣旨に従い、熱心かつ誠実に地区の運営に尽力し、ロータリーの発展のために大きな貢献をされた。よって、我々は、同氏のご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表することをここに決議する。

決議第5号

ポリオ撲滅活動に協力する件

当地区は、バリー・ラシン会長が示された本年度のテーマに沿い、ロータリー精神を高揚し、「歴史をつくるカウ

ン」のロータリー精神を掲げ、世界中の子どもたちに夢と希望をもたらすポリオ撲滅活動を推進することをここに決議する。

決議第6号

本地区大会資金に余剰が生じた場合の 使用方法に関する件

本地区大会資金において、一般会計補填後に余剰が生じた場合には、その一部または全部を奉仕プロジェクト特別会計、青少年交換特別会計、および危機管理基金等に繰り入れることをここに決議する。

決議第7号

2019年ハンブルグ国際大会に 参加協力する件

2019年6月1日から5日まで、ハンブルグで開催される国際大会が有意義かつ成功裏に終わるよう、積極的に参加し、協力することをここに決議する。

決議第8号

本大会開催に当たって、兵庫県および加古川 市、ならびに関係諸団体に対する感謝の件

本大会開催に当たって、兵庫県および加古川市、ならびに関係諸団体から賜ったロータリーに対する深いご理解とご協力に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第9号

本大会ホストクラブに対する感謝の件

本大会が、地区内外より多数の参加者を得て盛大に開催されたことは、ひとえにホストクラブである加古川中央ロータリークラブとコ・ホストクラブである高砂、加古川、高砂青松、加古川平成ロータリークラブの、長期にわたる周到な準備と献身的なご努力の賜物である。よって本大会は、これらのクラブ会員に対し、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第10号

次年度地区大会開催に関する件

2019-2020年度国際ロータリー第2680地区地区大会を、神戸ロータリークラブをホストとして、2020年2月22日・23日の両日において、神戸市で開催することをここに決議する。

本 会 議

〔RI会長代理所感〕



RI 会長代理

前田 直俊

(坂出東)

矢野ガバナーのリーダーシップのもと、地区大会開催に向けてご尽力された大庫俊介実行委員長、ホストである加古川中央ロータリークラブの松本浩一会長を始めとする加古川中央ロータリークラブの会員の皆様に心からの敬意とお礼を申し上げます。また二日間にわたってエイド役をお務めされました室津義定地区研修リーダーご夫妻に、厚く御礼申し上げると同時に心から感謝いたしております。

今回の地区大会は、矢野ガバナーの思い入れのある播磨の伝統ある中核都市 加古川で行われたことに意義があります。今まさにあるいは今後を含み、少子高齢化、人口減少時代に突入しております。この点が海外とは事情が違っており、日本のロータリーの発展を願うなら見逃せない重要なポイントです。団塊の世代に対しては退会防止を含めて高齢者に寄り添った対策を考え、団塊ジュニア以降の若い世代に対しては仮に出生率が増加してもなお人口減少が止む無しとするような状況下においては、若い人達にとって魅力的な新しく、考えうるベストな制度を確立することが必然となってきています。今回の矢野ガバナーのローターアクトクラブ公式訪問導入はそのシンボルとも言えるものです。バリー・ラシンRI会長テーマ「インスピレーションになろう」の下、矢野ガバナー地区方針「チェンジを恐れず、チェンジをリードし、新たなチャンスと捉えチャレンジしていく」を踏まえて実行された大変素晴らしい地区大会となり、その素晴らしいアイデアに富む行動力は、全国ロータリアンの模範となるべきものでした。

ぜひ今後とも浅木幸雄ガバナーエレクト、高瀬英夫ガバナーノミニ、吉岡博忠ガバナーノミニ、デジグネートの皆さんにおかれましては、日本のロータリー100周年に向けて、さらにこの地区を充実するようお願いいたします。歳は足し算、この地区のロータリーは掛け算で飛躍するように心よりお祈りして、RI会長代理としての所感とさせていただきます。ありがとうございました。



本 会 議

〔ガバナーエレクト挨拶〕



ガバナーエレクト

浅木 幸雄

(神戸)

矢野宗司ガバナーのもと、前田直俊RI会長代理ご夫妻をはじめ、幾多のご来賓をお迎えして、2018-19年度の地区大会が盛大に開催されたことを、こころよりお祝い申し上げます。

既に本年度も半ばを過ぎましたが、矢野ガバナーはバリー・ラシンRI会長のテーマ「Be the Inspiration インスピレーションになろう」を常に先頭に立って実践して来られました。一般市民を含む75,000人もの参加者を数え、Rotaryの公共イメージと認知度を大いに高められた「兵庫フェスタ」開催をはじめ、8つのセミナーを1日に集約し、その効果と効率を見事に両立されたSeminar Dayの実施は、とりわけ皆様の記憶にも鮮やかではないでしょうか。

それら積み重ねられた目覚ましい成果に加え、ここ加古川の地で30年ぶりに開かれた今回の地区大会に於いても、地域色豊かな会場設営やサービス、アトラクションなど、まさにインスピレーションとホスピタリティに溢れたプログラムを皆様と共に楽しみ、且つ新鮮な啓発を受けることが出来ました。それだけに大庫俊介実行委員長をはじめ各委員会の皆様、そしてホストクラブと一心同体で相務められた東播第二グループのロータリアン各位に擱かれては、準備から運営に亘ってたいへんなご苦心とご苦勞があったものと存じます。

しかしながら、ともすれば旧套墨守に陥りがちな会場設営や企画運営の困難を乗り越えて実践された今回の新基軸は、「我が街で開く、我が地域の地区大会」という一つのお手本として、今後当地区の歴史に残るであろうと確信している次第です。

さて、斯くの如き立派な矢野年度を間もなく引き継ぐにあたり、課せられた重責を思えば、いっそう身の引き締まる想いではございますが、精一杯、皆様の情熱と奉仕のこころを受け継いで頑張る所存でございます。

皆様の暖かなご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



本 会 議

〔ガバナーノミニー挨拶〕



ガバナーノミニー
高瀬 英夫
(西 脇)

ガバナー指名委員長、石丸鐵太郎パストガバナーより2020-21年度ガバナー予定者に指名されました西脇RCの高瀬英夫でございます。唯一ガバナー輩出経験の無い東播第3グループの代表として、皆様のバックアップを受け、地区での経験不足また浅学非才を顧みず大役をお受け致しました。

まずは、2018-19年度の地区大会が、矢野ガバナーの3C（Challenge）の最後の一つ〈地元加古川で開催〉として盛大に実施されましたことを、心からお祝い申し上げます。

私が所属しております西脇RCは、西脇市と多可郡からなり、創立56年で、会員は47名で活動しております。また、西脇市は、日本のほぼ中心に位置し、日本標準時の子午線東経135°と北緯35°が交わることから、〈日本のへそ〉と呼ばれています。

ノミニー年度は、少しでも経験不足をカバーすべく、瀧川直前ガバナー、矢野ガバナー、浅木エレクトのもと、各種委員会に出席し研修させて頂いています。それら研修を通じて、ロータリーの魅力の一つは、多くの素晴らしい人達との出会い、交流による〈自己研鑽〉（=自分の足りない所を他のロータリアンから学ぶ）であると実感しております。

不安一杯の船出ではありますが、更なる成長の機会を頂いたと感謝し、努力する所存でございます。

最後に2006-07年度に加藤パストガバナーが西脇RC公式訪問時に詠んで下さった一首をご紹介致します。

「日本のへそと呼ばれし西脇のクラブも地区のへそとなるらん」

西脇に向けてエールを頂いてから十数年、地区の経験豊富な皆様、また東播第3グループの方々のご協力を得て、西脇RC全員で力を合わせ努力しますので、ご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。



本 会 議

〔参加クラブ代表挨拶〕



西脇 RC 会長

藤本 武彦

(西 脇)

ただ今、ご紹介いただきました、西脇ロータリークラブ会長の藤本でございます。誠に僭越ではございますが、参加クラブを代表してご挨拶させていただきます。

まず、昨日、今日と二日間にわたり開催されました国際ロータリー第2680地区2018-19年度地区大会にご臨席を賜りました、前田直俊国際ロータリー会長代理ご夫妻をはじめ、国際ロータリー理事ご夫妻、国内の多くの地区よりご参加いただきましたガバナーご夫妻、パストガバナーご夫妻、そして、参加クラブの皆様にご心から御礼申し上げます。

また、本大会に向けて矢野ガバナーはじめ大庫実行委員長のもと、ホストクラブとして万全の準備をしていただき、このような素晴らしい地区大会を開催していただきました加古川中央ロータリークラブの皆様方に心から感謝申し上げます。

さて、本年度バリー・ラシン国際ロータリー会長のテーマは、「BE THE INSPIRATION」です。ラシン会長は、「ロータリーの奉仕は、人々の人生、そして地域社会を変えるもので、一番大切なことは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に、勇気と希望、そして、創造性をもって、正面から立ち向かう意欲をもつ事」と示しておられます。

また、矢野ガバナーは、3つの「C」を行動指針とされました。「Change」—変化を恐れず、変化をリードし、「Chance」—新たな機会と捉え、「Challenge」—挑戦していく。この3つの「C」を目標にして、ロータリー活動を推進する事と示されておられます。これにより、我々ロータリアンは、ロータリーの奉仕活動をもっと活発なものとしていかなければなりません。

昨日の多様化推進セミナーでは、「ジェンダーを超えた仲間づくり」というテーマでパネルディスカッションがございました。ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的に形成された男女の違いのことですが、パネリストの一人、RI第2660地区代表幹事の宮里唯子氏（茨木西RC）の「ロータリークラブに入った時から、自分は女性だとは思っていません」という言葉が私の記憶に最も鮮明に残っております。また宮里氏の「元々ロータリークラブは女性会員を受け入れていませんでしたが、1989年規定審議会で女性の入会が認められ、現在、女性会員の割合は全体で約20%、日本は約4%となっております。まだまだ女性ロータリアンが少ない現状ですので、教育・芸術・事業家で輝いている女性を探し入会を推し進めてください。」との発言をお聞きし、私自身もジェンダーを超えた仲間づくりに努めていきたいと思っております。

この二日間の地区大会に於いて、多くのロータリアンが共に学び、共に楽しく親睦を深めることができましたこと、改めまして、本大会を運営して頂いた大会関係者ならびにロータリアンの皆様にご心より感謝を申し上げ、簡単ではございますが、参加クラブ代表の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

本 会 議

〔次年度ホストクラブ代表挨拶〕



神戸 RC 会長

佐井 裕正

(神戸)

皆様、こんにちは。

次年度2019-2020年度の地区大会をホスト致します、神戸ロータリークラブを代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

本年度、この加古川の地に於きまして3月23日・24日の2日間にわたり盛大にして、内容の充実した地区大会を催された矢野宗司ガバナー並びに加古川中央ロータリークラブの会員の皆様方には心より敬意を表すと共に感謝を申し上げたいと思います。

矢野ガバナーはその行動指針として「変化(Change)を恐れず、変化をリードし、新たな機会(Chance)と捉え、挑戦(Challenge)していく」を掲げられました。この地区大会はその集大成とも言える革新的なセミナーが多数盛り込まれ、矢野ガバナーの想いが詰まった素晴らしい地区大会になったのではないのでしょうか。

また、この東播第2グループの高砂ロータリークラブ、加古川ロータリークラブ、高砂青松ロータリークラブ、加古川平成ロータリークラブ全てをコ・ホストとし、地域挙げての大会運営はこれからの2680地区(兵庫県)全ての地域に於いて、地区大会が可能であるという事を見事に実践されたと言っても過言ではありません。

さて、次年度は浅木ガバナーを擁し、神戸ロータリークラブがホストクラブを承ることになりました。2006-2007年度加藤隆久ガバナー以来13年ぶりのガバナー擁立です。神戸ロータリークラブが一丸となって浅木ガバナーを支えていきたいと考えています。

2020年2月22日・23日の2日間、神戸ポートピアホテルに於きまして、新しい御代となって初めての地区大会が催されます。ここは一度原点である神戸で執り行い、しかる後に2680地区全ての地域で地区大会を開催することにより、2680地区の発展にも繋がると信じています。

そういう意味で、いまさら神戸ではなく、そして神戸という事で多数のロータリアンの方々の参加をお待ち申し上げます。



本 会 議

〔ガバナー謝辞〕

ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)

本年度は、グランド・フィナーレとして、ガバナー補佐並びにクラブの会長、幹事の皆様にもご登壇いただきました。皆様にはリーダーとして、本年度の地区運営に多大なご協力をいただき、誠に有り難うございます。

また、会場の皆様におかれましても、加古川での地区大会にご参加いただき、有り難うございます。前田RI会長代理のご指導のもと、地区大会の本会議も無事終えることができました。本年度の地区大会は30年ぶりの加古川での開催ということで、「Inspiration Everywhere」のもと、様々な取り組みをさせていただきました。不慣れなため、不手際、不便な点多々あったと思いますが、ロータリーの友情のもと、お許しいただければ幸いです。

本年度もまだ3カ月残っております。最後までしっかりと務めたいと思いますので、今後ご協力をよろしくお願いいたします。



会員家族懇親会

〔加古川プラザホテル1F・2F〕

24日(日) 18:00~20:00



高橋 竹仙 さん

〈プロフィール〉

加古川生まれ 津軽三味線奏者

'78年 加古川東高校卒業後、高橋栄山師に入門。

'80年 「竹仙」を襲名。

'83年 石川県ホテル百万石専属プロ契約。

'86年 福井県ホテルグランディア専属プロ契約。

'99年 南アフリカ共和国公演参加。

'03年 ロシア公演参加。

'05年 スペシャルオリンピック長野大会、北野文芸座、出演。

'15年 12月小田祐一郎氏の作曲&プロデュースによるアルバム「妙音三昧」で、New York City Recordsより世界デビュー。

'16年 3月加古川市民会館主催「津軽の風」12月松風ギャラリー主催「わの心」主演

'17年 1月~ノーベル「男梅」テレビCMに出演

関西を中心に全国各地で公演。竹山流の古典の三味線を継承しながら、和太鼓とのセッションやヴァイオリン、コントラバス、ピアノとのコラボレーションなど幅広く活躍中。



丸山 佳美 さん

〈プロフィール〉

加古川生まれ 民謡歌手

'83年 石川県 山代温泉ホテル百万石専属プロ契約

'86年 福井県芦原温泉ホテルグランディア芳泉専属プロ契約

'98年 高橋竹仙と活動再開

'12年 水沢明美ディナーショーに出演

'13年 津軽三味線&津軽民謡ライブに各地で出演

'15年 12月小田祐一郎氏の作曲&プロデュースによるアルバム「妙音三昧」で、高橋竹仙とNew York City Recordsより世界デビュー。

'16年 3月加古川市民会館主催「津軽の風」12月松風ギャラリー主催「わの心」出演。



リラックスカフェ

〈プロフィール〉

1977年に姫路のスタジオで初顔合わせをし、ドラム・ベース・ギター2の4人でブルースバンドを組み、地元のライブハウスや県のフェスティバル、鶴林寺の「たそがれコンサート」などに出演。

その後、現在の2人でアコースティックギターデュオを結成し、加古川・高砂・神戸などのライブハウスなどで活動を行っています。昨年のライブ本数は154本を数えることができました。

〈レパートリー〉

津軽海峡冬景色、駅、哀愁のカサブランカ、与作、レイラ、デスペラード、いそしぎ、黄昏のピギン、ベンチャーズ・ビートルズメドレー 他



総合司会 千葉 恵美 さん

青少年育成公開セミナー

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

竹田恒泰氏一般公開講座、本会議、会員家族懇親会

ウィンク姫路KTV「ウィークリー姫路」出演、姫路FM元気「genki暮らしの情報部」パーソナリティー、サンTVC、姫路FMCM、企業VTRナレーション〈川崎重工業 他多数〉

神戸新聞社主催の新一年生の集い・金婚式・コンサート、姫路市主催の成人式・観桜会・観桜会等、たつの市主催の童謡の祭典・商工会祭、LC年次大会・各種公演。ピンクリボン姫路大会・(乳癌撲滅)各種パーティー等のイベント司会の他、ブライダル司会。朗読MUGENDAI事務局長

表彰

〔2017-18年度〕 (対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日)

RI表彰

会長賞

篠山
神戸
加古川中央
HYOGO ロータリーEクラブ
西宮イブニング

ロータリー財団表彰

ロータリー財団年次寄付 1人当たり寄付額 上位3クラブ

加古川中央
尼崎西
神戸東灘

ロータリー財団年次寄付 寄付額 上位3クラブ

加古川中央
神戸
加古川

100%ロータリー財団寄付クラブ

(正会員全員が寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、
一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブ)

川西
伊丹有明
川西猪名川
西宮
芦屋
甲子園
西宮夙川
芦屋川
西宮恵美寿
宝塚
篠山
柏原
宝塚武庫川
宝塚中
神戸南
神戸六甲
明石西
加古川
加古川中央
高砂青松
加古川平成
小野加東
西脇
龍野
生野
香住
豊岡円山川

Every Rotarian, Every Year クラブ

(正会員全員が年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、
一人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブ)

伊丹有明
西宮
芦屋
甲子園
西宮夙川
西宮恵美寿
宝塚
篠山
柏原
宝塚中
神戸南
神戸六甲
加古川
加古川中央
高砂青松
加古川平成
小野加東
西脇
龍野
香住
豊岡円山川

End Polio Now 「歴史をつくるカウントダウン」

(ポリオ撲滅活動に少なくとも1,500ドルを寄付したクラブ)

川西
芦屋
甲子園
西宮夙川
宝塚武庫川
神戸
加古川
高砂青松
三木みどり
姫路南
姫路西
相生
龍野
生野

ロータリー財団への寄付

アーチ・クラフ・ソサエティ

神戸西神 丸尾 研一

メジャードナー

尼崎北	久保 太郎	武本 正照
尼崎西	小出紀久男	
伊丹	大森 英夫	
西宮夙川	山本 正二	
柏原	坂東 隆弘	
宝塚武庫川	高草 秀一	
宝塚中	那須 範満	
神戸西	矢坂 誠徳	
神戸西神	池田 實行	
加古川中央	矢野 宗司	
三木	小山 幸夫	
上郡佐用	森 正春	
和田山	古屋 耕三	

ポール・ハリス・ソサエティ

尼崎東	小坂 圭一	
尼崎西	石井 良昌	小出紀久夫
	中尾 信彦	
甲子園	佐々木孝佳	
宝塚武庫川	大室 備	
神戸	井植 貞雄	

遺贈友の会

宝塚武庫川 大室 備

ベネファクター

尼崎北	久保 太郎	武本 正照
芦屋	山田 正雄	
柏原	坂東 隆弘	
宝塚武庫川	高草 秀一	
神戸南	米谷 収	
神戸西	矢坂 誠徳	
加古川中央	矢野 宗司	
三木	小山 幸夫	
西脇	谷垣 信吾	

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尼崎北	菊田孝太郎	
尼崎東	浜田 義夫	小坂 圭一
	松岡 秀光	
尼崎西	荒巻 政文	伊藤 興喜
	小出紀久男	越山 正
	中島貴美子	
尼崎南	藤川 忠司	山本 澄
	安澤 一能	

尼崎中	平井 裕子	池田 博英
	池澤 一雄	神谷 誠治
	勝本 敏広	大附 一彦
	備 博之	
伊丹	大森 英夫	
川西猪名川	下岡 節三	
伊丹有明	備藤 晋二	岩崎 健二
	奥野 茂	津谷 功
	筒井 一昇	
芦屋	笠谷 修造	松村 哲
	中 俊介	杉山 清和
	武 健一	玉屋 喜英
	天王寺谷貴	山西 康司
甲子園	天羽 公夫	井上 薫嘉
	石丸 秀樹	勝部 芳樹
	木嶋 一二	松本 源也
	二宮 明彦	多田 昭宏
	竹政順三郎	谷口 賢蔵
	安本 勉	
西宮夙川	山本 正二	
西宮恵美寿	宮腰 久司	
三田	古家 高	
篠山	藤本 善一	堀口 純男
	小南 稔彦	満仲 諦雅
柏原	中澤 敏	
宝塚武庫川	大門 勝史	北 久兵衛
	池田 光輝	澤田 容延
宝塚中	馬場 和代	細川 洋一
	川添 裕照	小山 一子
	栗田 義博	榎野 稔
	那須 範満	坂上 安夫
	竹原 善記	田中 哲三
	矢野 浩臣	
神戸	浅木 幸雄	藤尾 益也
	後藤 武	今津 由雄
	菊池 晴彦	小山 敬
	奥井 秀樹	太田 雅勝
	鈴木 一誠	瀧川 高章
	田中 昌利	
神戸東	上村 伸幸	西村 太一
	吉井 正幸	
神戸東灘	苦瓜 顕一	和田 孫博
神戸南	植松 清	
神戸西	堺 充廣	
神戸須磨	門田 敬造	
神戸中	岩崎 重暁	
明石北	日置 大之	
高砂	喜始すみ子	佐野 敏晴
	脇谷 政孝	
加古川	桑田純一郎	橘 重孝
	吉川 勝之	

表彰

〔2017-18年度〕 (対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日)

加古川中央	船山 英宣 岩佐 清 前川 忠範 多木 有一	井上 孝明 壁 貴義 大西淳滋郎 矢野 宗司		神戸北 高 砂 加古川 加古川中央	茅園 建新 高木 史郎 吉田 太郎 松本 浩一	宮本鹿司夫
加古川平成	宮宅 勇二 畑中 伸介 伊藤 俊博	戸田 一郎 永井 岩夫 増村 道雄		加古川平成	井上規代子 鈴木 勝博	河内 洋之
三 木	内藤 正克 藤本 武彦	藤原 悦男		三 木	神澤 秀和 宮脇 靖治	松岡 丈二
小野加東	南 久雄 松尾 敏夫			小野加東	森下 智行	
西 脇	岡田 雅博 日種 顯夫			北 条	浜本 泰秀 吉田 博之	小田 岳人
三木みどり	徳梅 明彦	津本 定也		西 脇	金田 実	
洲 本	毛利 恵行	小原 直人		三木みどり	二杉 智幸	
淡路三原	高島 暢			淡路三原	久田 浩嗣	
あわじ中央	田寺 康啓	八木 芳廣		姫路南	藤塚謙次郎	
姫路南	河野 通一			姫路西	中村 浩一	鷺尾 和正
姫路西	波多野芳則			姫路東	森下 裕司	
姫路東	杉山 匡行			赤 穂	廣島 圭吾	
神 崎	湊 邦弘	半田 齊		龍 野	本條 昇	
赤 穂	池田 雅子	宮本美智子				
相生	柳原 義宏					
上郡佐用	能見洋八郎					
生 野	松本 政信					
和田山						

ポール・ハリス・フェロー

尼 崎 東	中田 雄久	
尼 崎 西	福本 誠悟	清川 浩志
	田川公一朗	
尼 崎 南	徐 幸一	
伊 丹	田中 久雄	
西宮夙川	牧江 重徳	
西宮恵美寿	李 暎浩	
宝 塚	西野 高司	
篠 山	廣田 実光	堀口 純男
	井本 季伸	松尾 正樹
	太野垣勝弘	
柏 原	森田 茂樹	
宝 塚 中	前田 正明	
神 戸	土井 正孝	富士ひろ子
	垣田 宗彦	加藤 千晶
	大久保裕晴	笹田傳左衛門
	高岡 浩三	高士 薫
神戸東灘	舟元 博	舟元美智子
	松田 眞一	
神戸南	乾 正博	徳田 周士
	辻村 光宗	
神戸西	芦名 謙介	神津 宜徳
	笹倉 宣也	武井 宏之
神戸須磨	伊富貴常雄	
明石南	小川 英紀	佐藤 昭

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会表彰

米山寄付認証クラブ

・3千万円達成クラブ
加古川中央

米山功労クラブ ()内は表彰回数

尼 崎	(18)
尼 崎 東	(16)
尼 崎 西	(31)
尼 崎 南	(16)
尼 崎 中	(5)
伊 丹	(13)
川 西	(15)
伊丹有明	(26)
川西猪名川	(13)
芦 屋	(13)
西宮夙川	(8)
宝 塚	(9)
三 田	(10)
篠 山	(27)
宝塚武庫川	(17)
神 戸	(41)
神 戸	(42)
神 戸 南	(9)
神 戸 西	(18)
神 戸 須磨	(21)
神 戸 西 神	(14)
神 戸 西 神	(15)

明石北 (17)
高砂 (17)
加古川 (27)
加古川中央 (23)
高砂青松 (26)
小野加東 (25)
淡路三原 (14)
津名 (20)
姫路 (30)
姫路南 (48)
姫路西 (13)
姫路东 (42)
相生 (15)
龍野 (24)
上郡佐用 (5)
豊岡 (18)

篠山 今井保晴 (8) 小山芳弘 (5)
栗山泰三 (5) 大見春樹 (4)
堀成志 (3) 河合迪雄 (3)
山内利樹 (3)
宝塚武庫川 池田光輝 (2)
神戸 井植貞雄 (6) 後藤武 (4)
上谷佳宏 (4) 若林邦昌 (4)
笹田傳左衛門 (2) 善野誠 (2)
神戸東 佐井奇正 (3)
神戸東灘 川本慶子 (6) 和田孫博 (5)
舟元美智子 (2)
神戸六甲 久保田梅継 (9) 坂部典生 (9)
神戸ベイ 前田靖文 (5)
神戸西 今津成生 (4) 小松原景久 (4)
神戸須磨 植田芳光 (6) 大内晋二 (5)
門田敬造 (3)
神戸北 山田博補 (6)
神戸垂水 濱崎良晴 (3)
神戸西神 池田實行 (5) 工藤涼二 (3)
大西敏郎 (2) 鶴井孝文 (2)
明石北 飯島健 (4)
加古川 橘重孝 (4) 藤本陽一 (2)
畑公平 (2)
加古川中央 朝家修 (4) 大西隆二 (4)
大西淳滋郎 (3)
高砂青松 廣瀬明正 (4) 井野隆弘 (4)
伊藤勝之 (4) 柿木國夫 (4)
小西文孝 (4) 京谷慎平 (4)
増田耕太郎 (4) 中谷利幸 (4)
西田光衛 (4) 西中亮二 (4)
大橋卓司 (4) 志方正昭 (4)
庄司武 (4) 田中浩行 (4)
田中伸明 (4) 都倉達殊 (4)
植杉成一郎 (4)

米山功労者メジャードナー (第10回以上)

川西 藪内勝 (12)
伊丹有明 小山隆 (12) 北里桂一 (11)
津谷功 (11)
甲子園 佐々木孝佳 (13)
宝塚 福間則博 (21)
篠山 小南稔彦 (15)
宝塚武庫川 大室儒 (24)
神戸六甲 山本秀憲 (13)
神戸須磨 橋本一豊 (16)
神戸西神 丸尾研一 (40) 河合敏三 (12)
吉川孝郎 (10)
加古川中央 矢野宗司 (10)
小野加東 増村道雄 (11)
西脇 井村正身 (14)
洲本 中村尚義 (12)
姫路 三木明 (10)

明石北 飯島健 (4)
加古川 橘重孝 (4)
畑公平 (2)
加古川中央 朝家修 (4)
大西淳滋郎 (3)
高砂青松 廣瀬明正 (4) 井野隆弘 (4)
伊藤勝之 (4) 柿木國夫 (4)
小西文孝 (4) 京谷慎平 (4)
増田耕太郎 (4) 中谷利幸 (4)
西田光衛 (4) 西中亮二 (4)
大橋卓司 (4) 志方正昭 (4)
庄司武 (4) 田中浩行 (4)
田中伸明 (4) 都倉達殊 (4)
植杉成一郎 (4)

米山功労者マルチプル (第2回~第9回)

尼崎 山村俊郎 (4) 西良耕一 (3)
尼崎北 中馬勇 (4)
尼崎東 喜多敬 (7) 内藤成敏 (3)
中西孝光 (2)
尼崎西 水野康朗 (6) 野崎光 (6)
清川浩志 (2) 前田裕幸 (2)
尼崎南 福田勝 (7) 藤川忠司 (6)
釜田育瑚 (3) 池邊善夫 (2)
徐幸一 (2)
川西 北政十郎 (9) 北川博崇 (3)
伊丹有明 池永明義 (5) 山中正雄 (3)
川西猪名川 下岡節三 (8) 吉岡康裕 (4)
西宮 辰馬章夫 (4) 北山哲三 (2)
芦屋 山田正雄 (8)
芦屋川 若林益郎 (5)

三木 稲田三郎 (5) 五本上照正 (2)
室谷啓介 (2)
小野加東 榎本豊 (4) 岸本亨 (2)
宮岡督修 (2)
洲本 井口昌亮 (3) 長井康洋 (2)
岡田雅博 (2)
淡路三原 興津博捷 (5) 小林健司 (4)
宮本圭介 (4) 志智宣夫 (4)
登里康生 (3)
姫路 三木明 (9) 穂積洋一郎 (2)
長尾卓夫 (2)
姫路南 高島暢 (9) 赤穂哲 (4)
小原直人 (4) 土井達也 (3)
齊藤淳泰 (3) 安田宏行 (3)
中村滋彦 (2) 梅本伸昌 (2)
姫路東 梅岡一晴 (5) 清瀬一郎 (3)
森原啓一郎 (3) 篠原正泰 (3)
水本雅史 (2)

表彰

〔2017-18年度〕 (対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日)

赤穂 杉山 匡行 (2)
 相生 森田 文藏 (2)
 龍野 三木 政司 (4) 長田 博 (2)
 山口 恭弘 (2)
 上郡佐用 森 正春 (6) 井口 洋子 (2)
 豊岡 辻 勝藏 (3) 竹中 博司 (2)

伊丹 西岡 伸明
 西宮 大迫 康二 山本 正明
 山本 真作
 神戸 藤井 英映 松田 幸治
 三木谷研一 南 健次郎
 二宮 秀樹 坂井 信也
 神戸東灘 西尾 至 横田 勝年
 神戸須磨 門田 敬造
 加古川 高浜 佳司
 加古川中央 松本 浩一
 三木 岡田 紹宏
 小野加東 細見 俊彦 井上 満
 北条 佐伯 保
 三木みどり 松尾 敏夫
 淡路三原 奥井 正造 田辺 孝宏
 姫路東 郡山 佳也 松浦 絵理
 龍野 下村 芳奈男

米山功労者 (第1回)

尼崎西 松本 孝
 尼崎南 久木元悦子
 川西 名越 亮 芝田 一夫
 山賀 一美
 西宮 赤澤 健一
 西宮夙川 牧江 重徳
 篠山 太野垣勝弘
 宝塚武庫川 大門 勝史
 神戸 川崎 厚志 高士 薫
 瀧川 高章 八木 博嗣
 神戸東 弘田 芳裕
 神戸東灘 東石 享子 水落 充
 持田 俊介
 神戸西 福岡 照記 神津 宜徳
 西川 嘉延 堺 充廣
 神戸須磨 伊富貴常雄
 神戸垂水 由良 博
 神戸西神 伊藤 幸美 小林 司
 道永 憲兒 中川 隆
 川崎 透
 明石 松田 千尋
 明石北 高木 史郎
 高砂 久後 勇人
 加古川 壁 貴義 宮本鹿司夫
 加古川中央 青木 裕加
 高砂青松 宮宅 勇二
 加古川平成 石井 盛久 久野 大介
 三木 森下 智行
 小野加東 福永 信彦
 北条 藤原 悦男 細田 俊之
 西脇 高瀬 英夫
 三木みどり 池町 雄介
 姫路 宮本 茂 城 守
 姫路南 藤塚謙次郎 黒川 仁
 姫路西 石田 文徳 三木 健児
 関本慶次郎
 姫路東 橋本 雅彦
 赤穂 前田 邦稔

準米山功労者

尼崎南 東本 武司 川岸 邦充
 川口 徹 芝 泰雄
 島谷 太 杉村 英明
 山中 潤一 吉田 哲也

ロータリー在籍

(対象期間：2018年1月1日～2018年12月31日)

ロータリー在籍

【60年ロータリー在籍】

姫路 空地 啓一

【55年ロータリー在籍】

尼崎北 中馬 勇
 明石西 小河 速
 淡路三原 秦 孝一

【50年ロータリー在籍】

三田 西浦 道雄
 神戸東 嘉納 忠夫
 南淡路 榎本紘一良

100%連続出席

【55年連続出席】

尼崎北 中馬 勇

【50年連続出席】

南淡路 榎本紘一良

【45年連続出席】

相生 今井 敏之

【40年連続出席】

尼崎東 松岡 秀光
 川西猪名川 藤本 幸男
 宝塚武庫川 大室 篤
 神戸東 木下 健

相 生	水本 由幸		
高砂青松	京谷 慎平	中谷 利幸	
神 崎	伊藤 晃敏	森 康弘	

姫路西	瓦井 敏之
相 生	栗尾 重徳
龍 野	中村 孝秀
香 住	伊藤 誠

【35年連続出席】

尼崎東	久保 建夫
芦 屋	山田 正雄
宝塚武庫川	中田 秀夫
神戸須磨	滝澤 功治
神戸西神	池田 實行
淡路三原	日種 顯夫
姫路東	中村 勉
神 崎	秋山 紀史

【30年連続出席】

西 宮	中西 哲生
柏 原	黒田 由弘
神戸垂水	田中 彰
明 石 西	岸本 吉充
加古川中央	大庫 俊介
北 条	三宅 成和
神 崎	波多野芳則

【25年連続出席】

尼崎北	猿丸 禎男	
伊丹昆陽池	前田 治男	
西 宮	吉井 良昭	
宝塚中	阪上 栄樹	
神戸東	上村 伸幸	
神戸垂水	善國 高豊	
高 砂	籠谷 啓一	大村 泰司
北 条	井上 幸三	塩谷 耕司
姫路西	八木 芳廣	山崎喜代志
神 崎	常次 佳丈	
相 生	田口 晴喜	
龍 野	松本 道彦	三渡 圭介

【20年連続出席】

尼崎東	小坂 圭一	
芦 屋	天王寺谷貴	
西宮恵美寿	伊賀 俊行	宮腰 久司
	長部 幸子	
神戸須磨	門田 敬造	
神戸西神	今田 学志	
明 石 南	尾上 孝司	
高 砂	桂田 重信	
加古川	森 隆志	橋 重孝
高砂青松	大橋 卓司	
北 条	橋爪 則雄	柏原 幸生
	竹内 靖明	
姫路	木谷 憲一	
姫路南	黒川 仁	柳川 芳廣

〔2018-19年度〕

ロータリー財団表彰

ロータリー財団功労賞

神戸東 久野 薫

地区表彰

(対象期間：2018年7月1日～2019年2月28日)

ガバナー賞

〔My ROTARY登録最優秀賞（ロータリークラブ）〕

登録率が100%のクラブ

尼崎南
 尼崎中
 神戸北
 神戸西神
 神戸モーニング
 明石西
 洲 本
 姫路中央
 香 住
 和田山

〔My ROTARY登録優秀賞（ロータリークラブ）〕

登録率が80%以上のクラブ

尼崎東
 西宮イブニング
 西宮夙川
 篠 山
 HYOGO ロータリーEクラブ
 加古川中央
 あわじ中央

〔My ROTARY登録優秀賞（ガバナー補佐）〕

全クラブが登録率50%以上を達成したグループのガバナー補佐

尼崎グループ ガバナー補佐	福田 勝
阪神第3グループ ガバナー補佐	柳田 昌三
神戸第2グループ ガバナー補佐	澤村 正夫
東播第1グループ ガバナー補佐	岸本 吉充
淡路グループ ガバナー補佐	森崎 文雄
西播第2グループ ガバナー補佐	前田 邦稔
但馬グループ ガバナー補佐	秋山 四郎

参 加 者

(2019.3.8現在 敬称略)

■ご来賓

兵庫県知事	井戸 敏三	
加古川市長	岡田 康裕	
RI会長代理ご夫妻	前田 直俊・敬子	坂出東
RI理事ご夫妻	三木 明・千春	姫路
RI研修リーダー (2017年・2018年)	木下 光一	大分城西
RI研修リーダー (2018年・2019年)	高野孫左エ門	甲府
RI研修リーダー (2018年)	本田 博己	前橋
第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターご夫妻	横山 守雄・悦子	大阪中央
第3ゾーン恒久基金／大口寄付アドバイザーご夫妻	大室 備・和代	宝塚武庫川
水と衛生のための大口寄付推進計画委員会委員ご夫妻	丸尾 研一・正子	神戸西神
第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーター補佐	溝畑 正信	東大阪東
ロータリーの友事務所 所長・理事	渡辺 誠二	東京みなと
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長	斎藤 直美	豊田
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 事務局長	岩邊 俊久	
公益財団法人PHD協会 事務局長	坂西 卓郎	

■地区外ガバナー

2500地区ガバナーご夫妻	細川 吉博・美由紀	帯広北
2510地区ガバナー令夫人	小山恵美子	札幌
2520地区ガバナーご夫妻	田中 堯史・かつ子	盛岡
2540地区ガバナー	富樫 龍紀	大曲中央
2550地区ガバナーご夫妻	伊東 永峯・智子	宇都宮西
2770地区ガバナーご夫妻	中川 高志・一美	大宮
2830地区ガバナー令夫人	今井佐千江	弘前
2580地区ガバナー	松坂 順一	東京葛飾東
2590地区ガバナーご夫妻	金子 大・和子	横浜中
2750地区ガバナー	服部 陽子	東京広尾
2760地区ガバナーご夫妻	村井總一郎・康子	豊橋
2640地区ガバナー	樫畑 直尚	和歌山
2660地区ガバナー	山本 博史	大阪南
2670地区ガバナーご夫妻	桑原 征一・八千代	新居浜
2690地区ガバナー令夫人	末長百合子	岡山
2710地区ガバナーご夫妻	吉原 久司・美和子	尾道
2800地区パストガバナー	鈴木 一作	寒河江
2660地区代表幹事	宮里 唯子	茨木西

2660地区ガバナーエレクト	四宮 孝郎	大阪西南
2660地区ガバナーノミニ	簡 仁一	茨木
2580地区RYLA委員長	嶋村 文男	東京江戸川
2670地区次期副代表幹事	藤原 賢治	徳島プリンス

■2680地区パストガバナーならびにガバナーエレクト・ガバナーノミニ

パストガバナー	神木 董	加古川
パストガバナーご夫妻	空地 啓一・翠	姫路
パストガバナーご夫妻	松岡 通夫・明子	神戸
パストガバナー	米谷 収	神戸南
パストガバナーご夫妻	中嶋 邦明・喜代子	甲子園
パストガバナーご夫妻	安平 和彦・佐千代	姫路
パストガバナーご夫妻	橋本 一豊・トシミ	神戸須磨
パストガバナーご夫妻	石井 良昌・恵美子	尼崎西
パストガバナーご夫妻	加藤 隆久・昌子	神戸
パストガバナーご夫妻	宮本 一・陽子	芦屋
パストガバナーご夫妻	中村 尚義・美穂	洲本
パストガバナーご夫妻	柴田 整宏・恵子	西宮夙川
パストガバナーご夫妻	久野 薫・正子	神戸東
パストガバナー	石丸鐵太郎	神戸南
パストガバナーご夫妻	滝澤 功治・勢子	神戸須磨
パストガバナーご夫妻	室津 義定・晴美	尼崎中
直前ガバナーご夫妻	瀧川 好庸・純子	神戸西
ガバナーエレクトご夫妻	浅木 幸雄・隆子	神戸
ガバナーノミニご夫妻	高瀬 英夫・静子	西脇

■特別参加者

プロバスクラブ
神戸北プロバスクラブ (すずらん)
垂水プロバスクラブ (ちどり会)
篠山プロバスクラブ (鼓)
姫路南プロバスクラブ (二水会)
淡路プロバスクラブ
インターアクトクラブ
ローターアクトクラブ
RYLA学友会
青少年交換長期来日生
青少年交換長期派遣候補生
青少年交換学友会
ロータリー財団兵庫学友会
米山記念奨学生
米山奨学生学友会 (兵庫)

参 加 者

(2019.3.8現在 敬称略)

■地区内参加クラブ

尼崎グループ

ガバナー補佐 福田 勝 (尼崎南)		
尼 崎	尼崎北	尼崎東
尼崎西	尼崎南	尼崎中

阪神第1グループ

ガバナー補佐 北里 桂一 (伊丹有明)		
伊 丹	川 西	伊丹有明
川西猪名川	伊丹昆陽池	西宮イブニング

阪神第2グループ

ガバナー補佐 山本 正二 (西宮夙川)		
西 宮	芦 屋	甲子園
西宮夙川	芦屋川	西宮恵美寿

阪神第3グループ

ガバナー補佐 柳田 昌三 (三田南)		
宝 塚	三 田	篠 山
柏 原	宝塚武庫川	三田南
宝塚中	HYOGO REC	

神戸第1グループ

ガバナー補佐 山本 秀憲 (神戸六甲)		
神 戸	神戸東	神戸東灘
神戸南	神戸六甲	神戸ベイ

神戸第2グループ

ガバナー補佐 澤村 正夫 (神戸垂水)		
神戸西	神戸須磨	神戸北
神戸垂水	神戸西神	神戸中
神戸モーニング		

東播第1グループ

ガバナー補佐 岸本 吉充 (明石西)
明 石 明石西 明石北
明石南

東播第2グループ

ガバナー補佐 好崎 泰州 (加古川平成)
高 砂 加古川 加古川中央
高砂青松 加古川平成

東播第3グループ

ガバナー補佐 松井 英樹 (小野加東)
三 木 小野加東 北 条
西 脇 三木みどり

淡路グループ

ガバナー補佐 森崎 文雄 (洲 本)
洲 本 南淡路 淡路三原
津 名 あわじ中央

西播第1グループ

ガバナー補佐 赤穂 哲 (姫路南)
姫 路 姫路南 姫路西
姫路東 神 崎 姫路中央

西播第2グループ

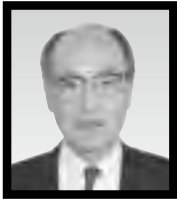
ガバナー補佐 前田 邦稔 (赤 穂)
赤 穂 相 生 龍 野
上郡佐用

但馬グループ

ガバナー補佐 秋山 四郎 (香 住)
豊 岡 生 野 香 住
豊岡円山川 和田山

物故会員

(敬称略・グループ順・名誉会員を含む 2018.1.1～12.31現在)



故 藤縄健一 氏(尼崎西)
享年69歳



故 石田英胤 氏(尼崎南)
享年74歳



故 酒井秀朗 氏(川西)
享年71歳



故 野村 侃 氏(伊丹有明)
享年79歳



故 熊村滋記 氏(川西猪名川)
享年93歳



故 吉見二郎 氏(川西猪名川)
享年89歳



故 永谷行雄 氏(芦屋)
享年95歳



故 榊原志朗 氏(神戸東)
享年66歳



故 嘉納忠夫 氏(神戸東)
享年87歳



故 土居丈治 氏(神戸西)
享年89歳



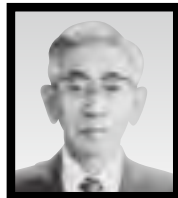
故 濱崎良晴 氏(神戸垂水)
享年77歳



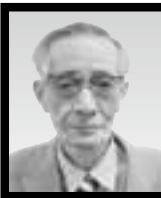
故 舟元 博 氏(神戸東灘)
享年69歳



故 植田 弘 氏(神戸東灘)
享年82歳



故 谷 正富 氏(明石南)
享年85歳



故 六井龍洋 氏(明石南)
享年75歳



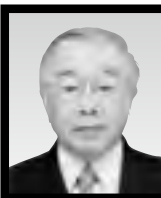
故 柴田正樹 氏(洲本)
享年97歳



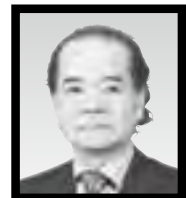
故 柳内文則 氏(姫路)
享年78歳



故 松浦梅春 氏(姫路東)
享年95歳



故 中谷義丈 氏(姫路西)
享年73歳



故 小西高男 氏(相生)
享年69歳



故 藤井慧乗 氏(龍野)
享年95歳



故 藤原俊輔 氏(豊岡)
享年77歳

ありし日のお姿を偲び
謹んで心から哀悼の意を表します

大会役員・大会特別委員会

大会役員

ガバナー	矢野 宗司	加古川中央
代表幹事	多木 有一	加古川中央
大会実行委員長	大庫 俊介	加古川中央
大会副実行委員長	好崎 泰州	加古川平成
//	宇田川 隆	加古川中央
//	坂井 智代	高砂
//	岡田 義則	加古川
//	松本 浩一	加古川中央
//	大橋 卓司	高砂青松
//	林 知宏	加古川平成

大会登録委員会

委員長	津田 信行	加古川中央
副委員長	松尾 邦光	加古川中央
委員	喜多 美雄	加古川中央
//	岩佐 清	加古川中央
//	武田 正明	加古川中央
//	豊福 一	加古川中央

大会信任状委員会

委員長	瀧川 好庸	神戸西
委員	福田 勝	尼崎南
//	山本 正二	西宮夙川
//	山本 秀憲	神戸六甲
//	岸本 吉充	明石西
//	赤穂 哲	姫路南
//	秋山 四郎	香住

大会決議委員会

委員長	室津 義定	尼崎中
委員	北里 桂一	伊丹有明
//	柳田 昌三	三田南
//	澤村 正夫	神戸垂水
//	好崎 泰州	加古川平成
//	松井 英樹	小野加東
//	森崎 文雄	洲本
//	前田 邦稔	赤穂

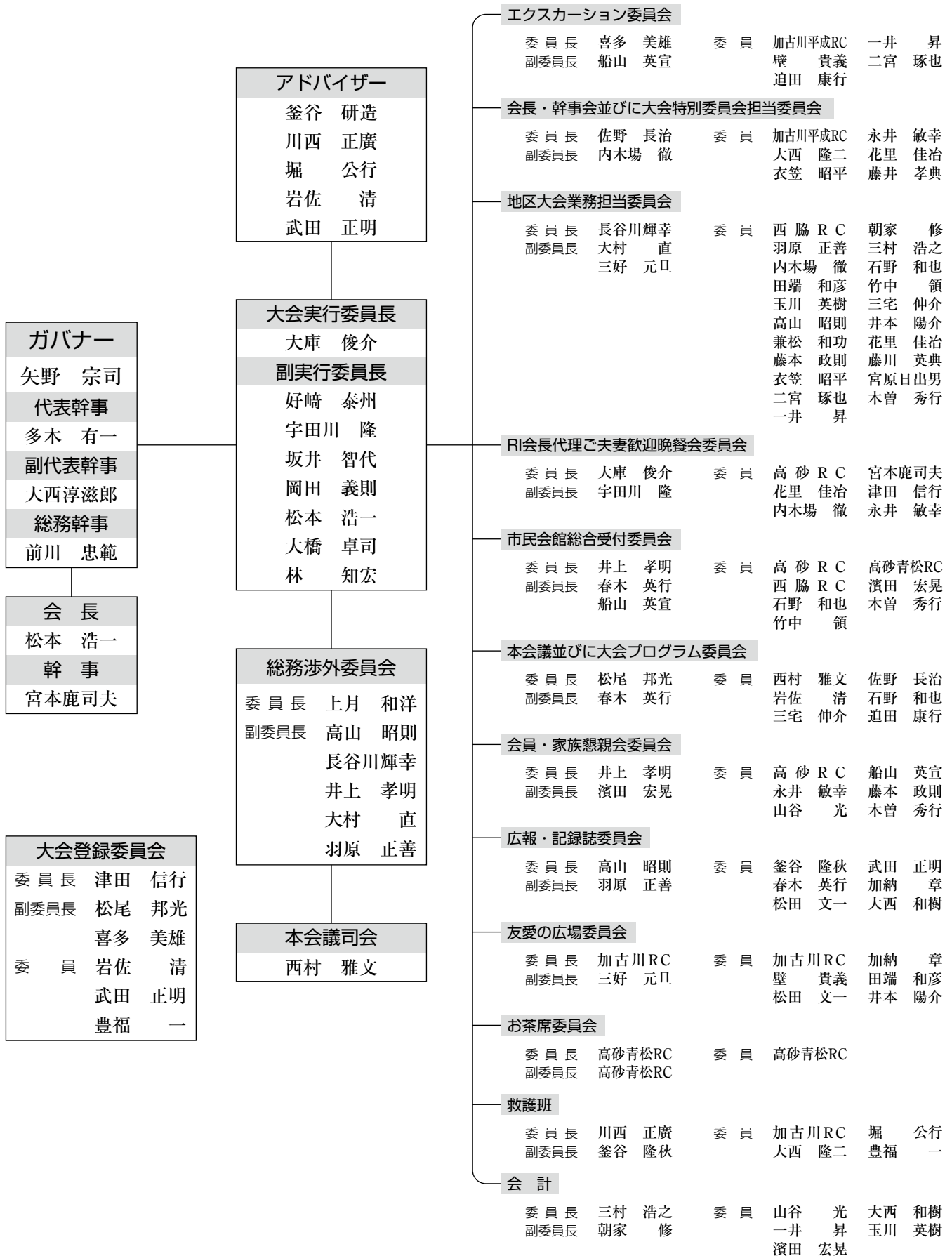
ガバナー指名委員会

委員長	大室 備	宝塚武庫川
委員	滝澤 功治	神戸須磨
//	丸尾 研一	神戸西神
//	室津 義定	尼崎中
//	瀧川 好庸	神戸西

地区資金委員会

委員長	朝家 修	加古川中央
委員	笹倉 宣也	神戸西
//	土井 正孝	神戸

実行委員会組織





◆ 編集後記

地区大会記録誌をお届けします。

3月、春景の地区大会でしたが、大勢の方にご支援・ご協力・ご出席を賜りまして心より御礼申し上げます。

矢野年度は、室津研修リーダー・瀧川直前ガバナー・浅木ガバナーエレクトの強力なサポートのもとに運営を致してまいりました。その集大成として、地区大会を加古川で開催させていただきました。大庫実行委員長を中心に加古川中央ロータリークラブと東播第2グループが一丸となって取り組みましたが、皆様、楽しんでいただけたでしょうか。

RI会長代理の前田直俊様は、矢野ガバナーが熱望されていた方で、素晴らしいご講演を賜りました。それから心とむ音楽や軽快なパフォーマンスで会場を盛り上げて下さった皆様、美味しいお茶で来場者をおもてなしくださった淡交会の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

会場となりました加古川プラザホテルと加古川市民会館を結ぶ道中に、「ようこそ加古川へ」のバナーを掲げたことは、ロータリークラブの公共イメージの向上にも繋がったのではないのでしょうか。加古川での30年ぶりの地区大会を経験させて頂いたことは、ホストクラブとして言葉では言い尽くせない、格別の喜びです。

本当に深く感謝しております。

そして、浅木年度地区大会へのお力添えも、何卒宜しく願い申し上げます。

おわりに
この記録誌によって地区大会での様々な思い出が美しく皆様の心によみがえりますことを…。

拙い編集後記までお読み頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。
ありがとうございました。

総務幹事 前川 忠範 (加古川中央)

Rotary
District 2680



2018-19年度 国際ロータリー第2680地区 地区大会記録誌

発行 2019年6月1日
発行者 国際ロータリー第2680地区 地区大会実行委員会
(加古川中央ロータリークラブ)
編集 広報・記録誌委員会
印刷 菱三印刷株式会社



BE THE INSPIRATION

【ホストクラブ】

加古川中央ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】

高砂ロータリークラブ

加古川ロータリークラブ

高砂青松ロータリークラブ

加古川平成ロータリークラブ

2018-19年度

国際ロータリー第2680地区

地区大会事務局

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1

神戸ポートピアホテル本館7階722号室

TEL 078-304-2680 FAX 078-304-2681

Email yano2680@arrow.ocn.ne.jp

URL <http://dist.ri2680.org/>